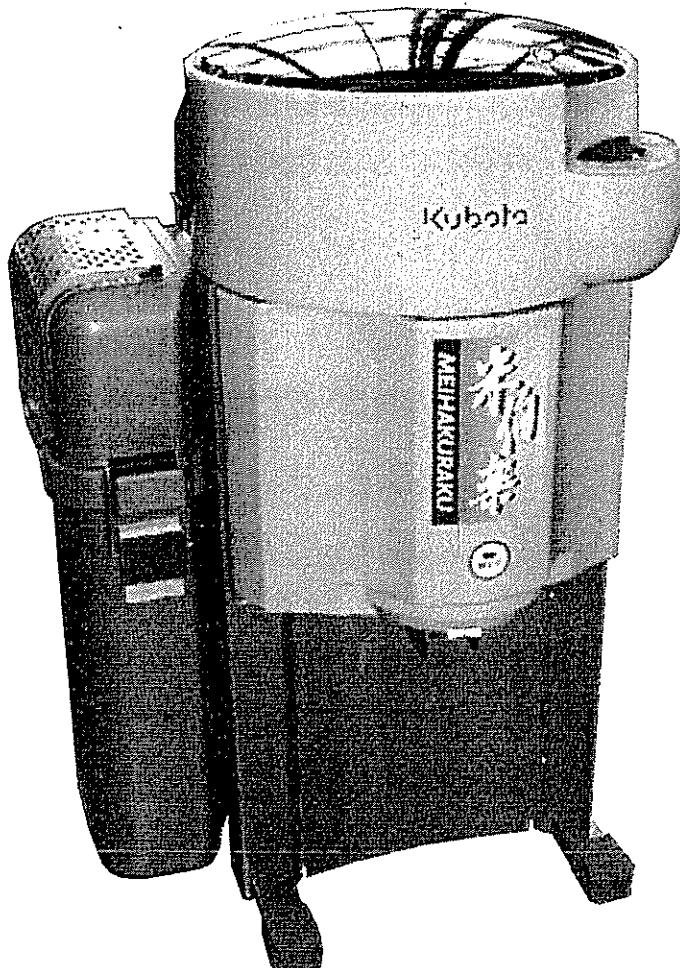


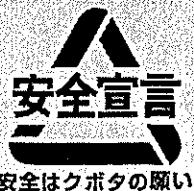
クボタ精米機

取扱説明書

VM-30N



対象機番
4ZD1190001(50Hz)～
4ZD1200001(60Hz)～



安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買上げの製品が優れた性能を發揮し、かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からぬことがあったときには取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、▲表示ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

！警告 ……その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものです。

！注意 ……その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものです。

重要 ……製品や装置の損傷や故障につながる使い方に対する注意事項です。

補足 ……その他の使用上役立つ留意事項です。

本製品の使用目的について

本製品は、精米機械であり、精米作業以外では使ってはいけません。

▲ 安全にお使いいただくために ▲-1

サービスと保証について	1
1. おもな特長	2
2. 各部の名称と配置	3
3. 運転と操作	
3-1 運転前の準備	5
3-2 運転のしかた<ノーマルモード>	6
3-3 白度スイッチの設定変更のしかた<ノーマルモード>	7
3-4 運転を中断する	8
3-5 非常停止する	9
3-6 糜満量表示と糠箱のそうじ	10
3-7 過負荷表示について	12
3-8 ノーマルモードからセルフモードへの切換え	13
3-9 セルフモードでの運転のしかた	14
3-10 セルフモードでの白度スイッチの設定変更のしかた	15
4. 日常のお手入れ	
4-1 白米出口のそうじ（毎週）	16
4-2 精白カバー内のそうじ（毎週）	17
4-3 精白ロールのそうじ（毎月）	18
4-4 糜ファンケースのそうじ（毎月）	19
4-5 本体内外のそうじ	20
5. 消耗部品の交換のしかた	
5-1 金網の交換	21
5-2 Vベルトの交換	22
5-3 糜箱フィルタの交換	25
5-4 ヒューズの交換	25
6. 故障かな？サービスを依頼される前にご確認ください	27
7. モニター表示について	28
8. 精米機の据付要領	29
9. サイクロンボックス(オプション)	
9-1 各部の名称	31
9-2 使用方法及び使用時の注意点	32
9-3 掃除のしかた	32
10. 製品の仕様	33

⚠ 安全にお使いいただくために

必ず読んで
ください。

機械をご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、お使いください。正しくお使いいただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも、本文の中で **⚠ 警告**・**⚠ 注意**・**重要**・**補足** としてそのつど取り上げています。

1. 運転する前に

■ 使用する人は

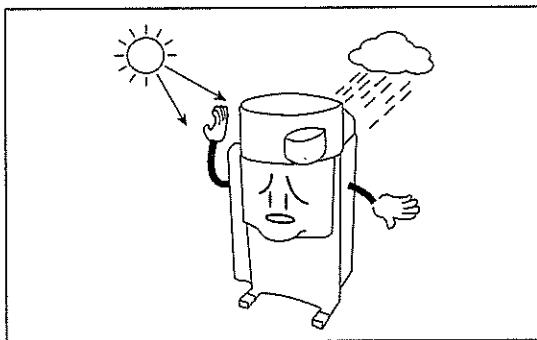
- 機械の運転操作をよく練習し、十分に慣れてから使用してください。
- お店などで不慣れな人が使われるときは、必ず、熟練した指導員をつけてください。
- 次の項目に該当する場合は、機械を使用しないでください。

※本書及びラベルの内容が理解できない人
※視力不足等のため表示内容が読めない人

■ 使用する場所は

- 機械の故障、変形、変色の原因となるので、次のような所では使用しないでください。

※不安定な所
※屋外など直射日光や、風雨が当たる所



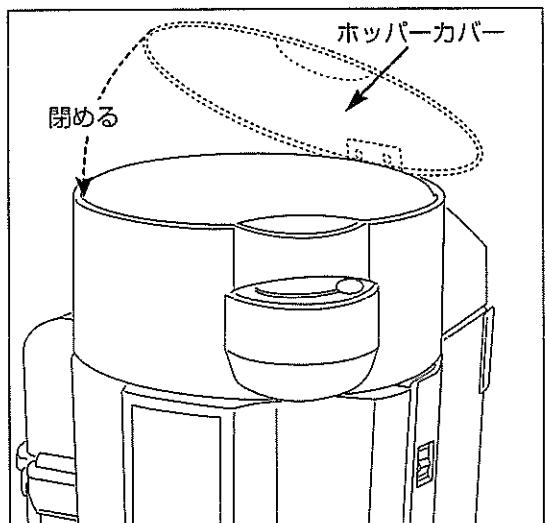
■ 電気配線は

- アースは必ず取り付けてください。
- コンセントの設置工事は電気工事士の資格が必要ですので、専門業者にご依頼ください。

2. 運転するとき

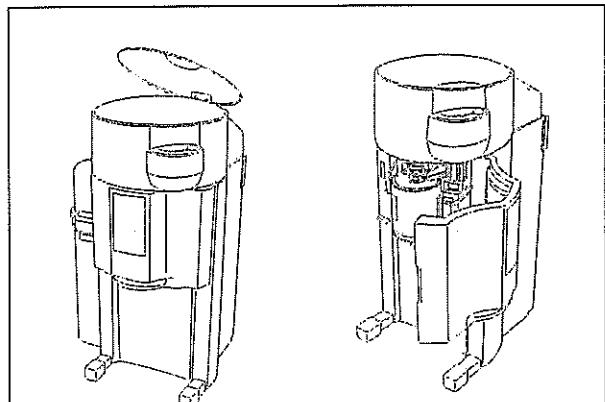
■ 玄米をホッパーに投入するとき

- 故障の原因となるので、米以外の異物は入れないでください。
- 運転中の異物の混入を防ぐため、玄米投入後は、ホッパークバーを開めてください。



■ 運転中は

- 動いている部分や、回転部に巻き込まれてけがをする恐れがあるので、前扉やホッパークバーは開けないでください。



！安全にお使いいただくために

3. 点検・整備をするとき

■必ず電源プラグを抜く

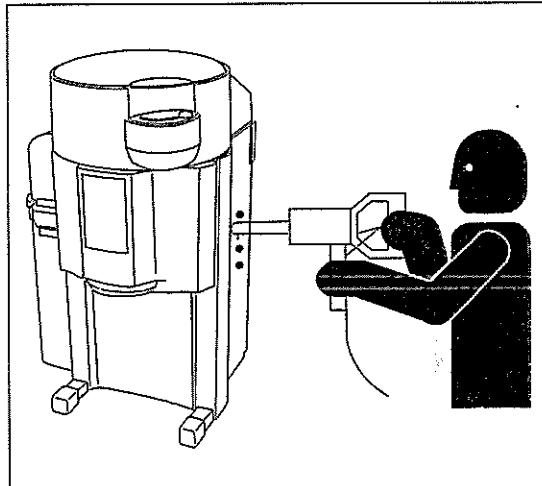
- けがや感電をする恐れがあるので、点検・整備をするときには、必ず電源プラグを抜いてください。

■カバー類は必ずつける

- 取り外したカバー類は元通りに組み付けてください。

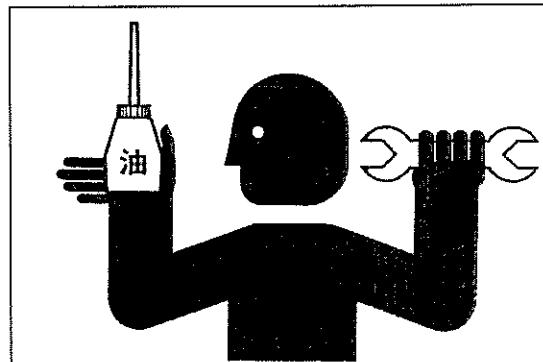
■機械の改造禁止

- 機械を改造しないでください。改造すると、機能に影響を及ぼすばかりか、人身事故にもつながる恐れがあります。



■1年毎の定期点検を

- 機械の整備不良による傷害事故などを未然に防止するため、1年毎に定期点検・整備を受け、安全に運転できるようにしてください。



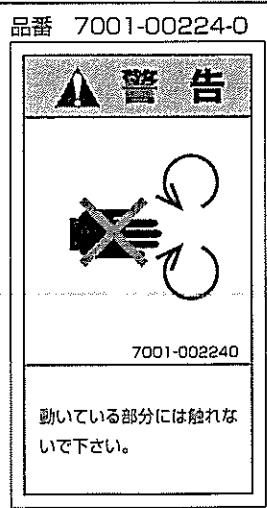
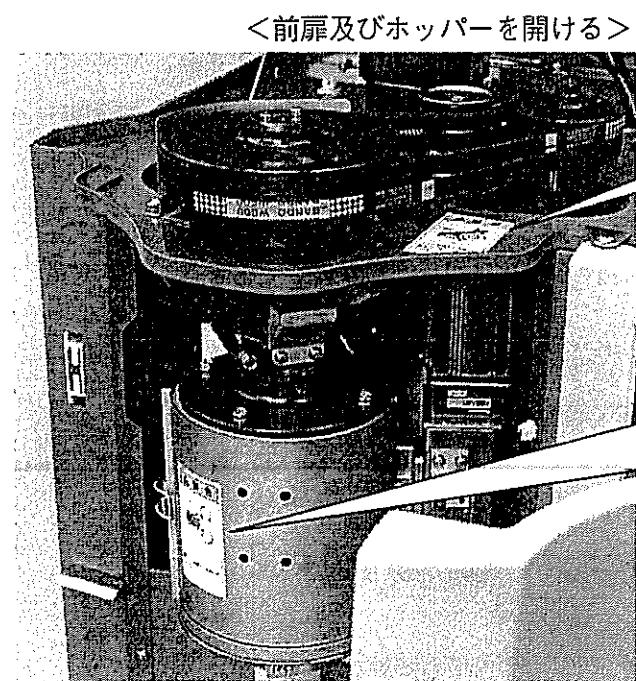
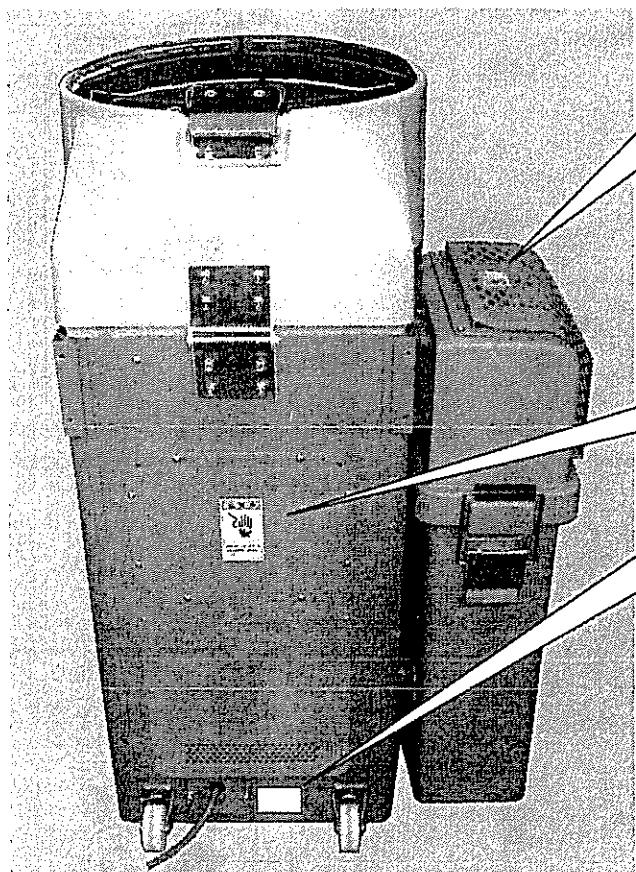
必ず読んで
ください。



4. ▲ 警告ラベルと貼付位置

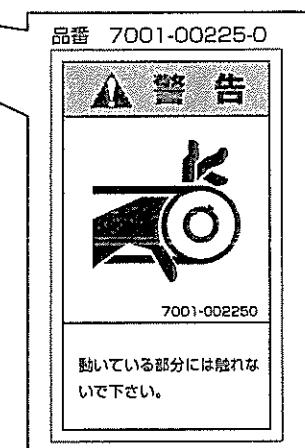
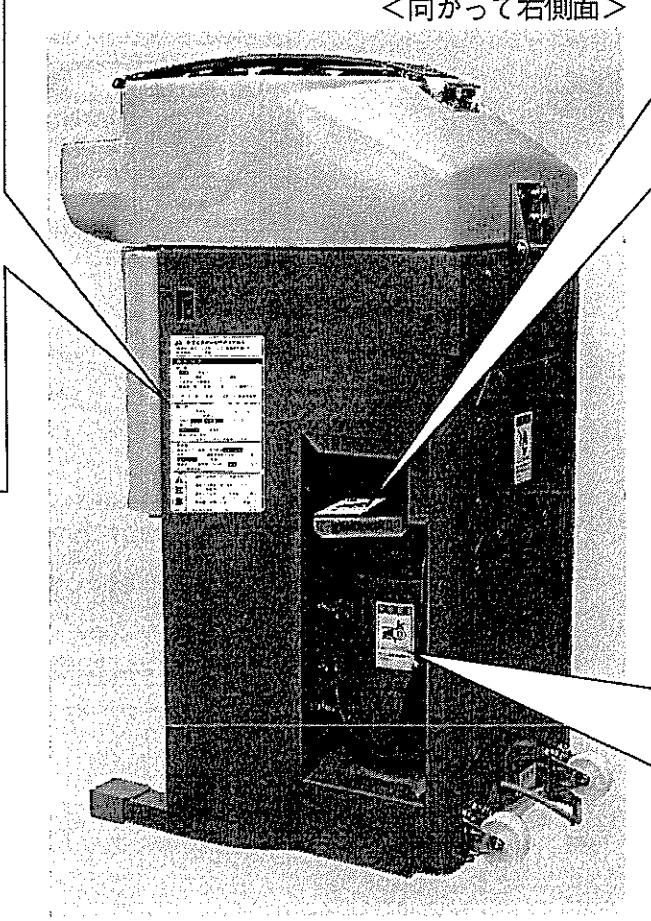
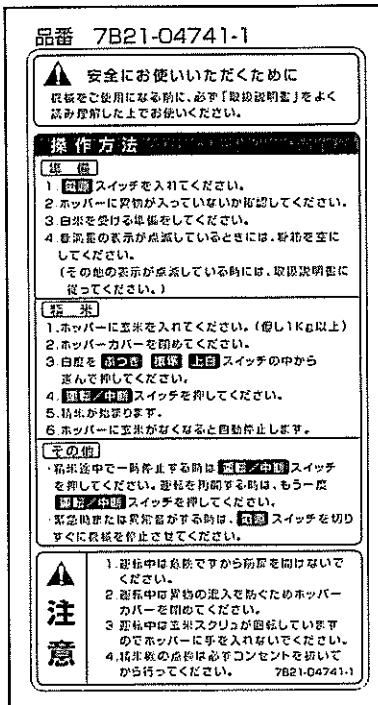
警告表示ラベルの印刷が消えかかったり、汚れて見にくくなったら、お手数ですがお買上の販売店に品番を連絡して購入し、貼り直してください。

<機械裏面>



！ 安全にお使いいただくために

必ず読んで
ください。



5. △警告ラベルの手入れ

- ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は、石鹼水で洗い、やわらかい布で拭いてください。
- 破損や紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全に拭取り、乾いた後、元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には、保証書が添付しておりますのでご使用前によくご覧になり
大切に保管してください。

保証期間はお買上げ日から一年間です。

なお、保証は日本国内のみ有効です。

1. 修理を依頼されるとき

「故障かな？」の表をお調べになり、直らないときは、必ず電源プラグ
を抜いてから、次の処理をしてください。

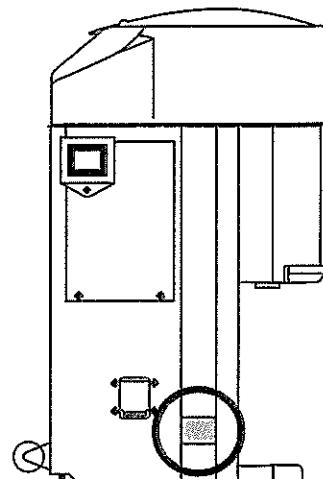
■ 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買上の販売店が修理させていただきますので、恐
れ入りますが、販売店にご依頼ください。修理の際には、必ず保証書をご
提示ください。

■ 保証期間が過ぎているときには

お買上の販売店にご依頼ください。

修理すれば使用出来る製品については、ご希望により有料で修理させてい
ただきます。その際、型式名と製造番号をご連絡ください。



2. サービスについて、わからないときは お買上げの販売店にお問い合わせください。

3. 定期点検契約をおすすめします。

この精米機は数々の新機構を備えた精密機構が組み込まれています。

ご使用頻度により異なりますが、パッキンや、モータ類は定期的に交換が必要になります。

その他にも下記部品は、消耗部品ですので保証期間内でも有料となります。

型式名	
製造番号	

品 番	品 名
7B21-01137-1	カナアミ
7B21-01141-0	糠ホース
7B21-01456-0	Vベルト (モータ60Hz)
7B22-01456-0	Vベルト (モータ50Hz)
7B21-01436-0	Vベルト (シュジク)
7B21-02317-1	糠箱フィルタ

精米機の稼働率向上のために、定期点検契
約をおすすめします。

お申し込みは、保証期間内の定期点検時に
申し出てください。



警告 機械の改造は危険ですので、改造しないでください。

改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、
メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

1. おもな特長

1

●全粒精米（残留米0）●

ホッパーに投入した玄米は全て精米し、
搗精室にお米が残らない残留米ゼロ機能です。

2

●安定した白度コントロール●

クボタ独自の電力負荷検知方式を採用し、
フィードバック制御により、
安定した白度コントロールを実現しました。

3

●簡単操作●

白度スイッチを選択し、
運転ボタンを押すだけで簡単に好みの白度に仕上げます。

4

●低温精米●

搗精中の米温上昇が低く、
原料玄米の味を保ったまま白米に仕上げます。

5

●糠箱満量検知機構●

糠箱に糠が一杯になると、
精米がスタートできなくなり、
糠ファンのつまりや吹出しを防止します。

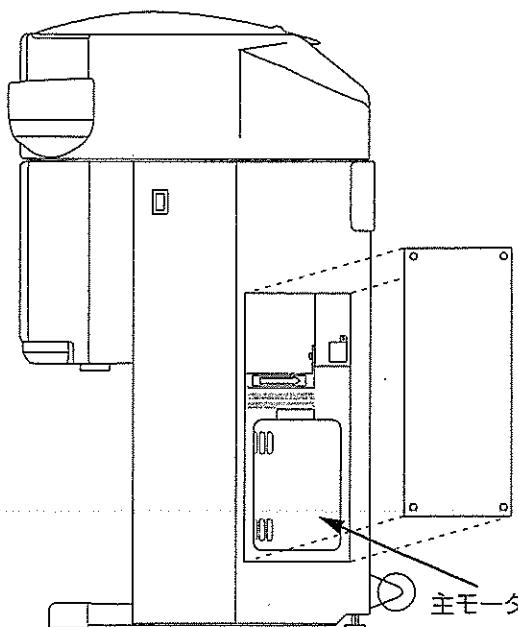
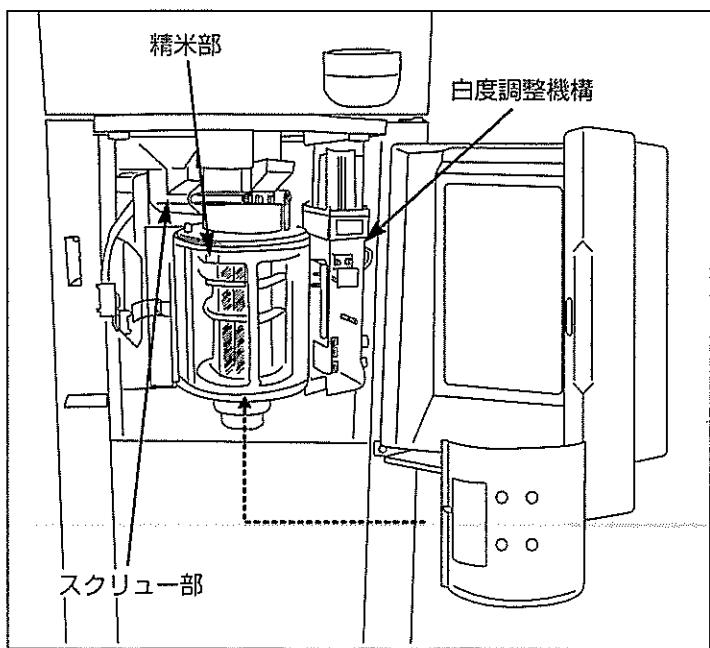
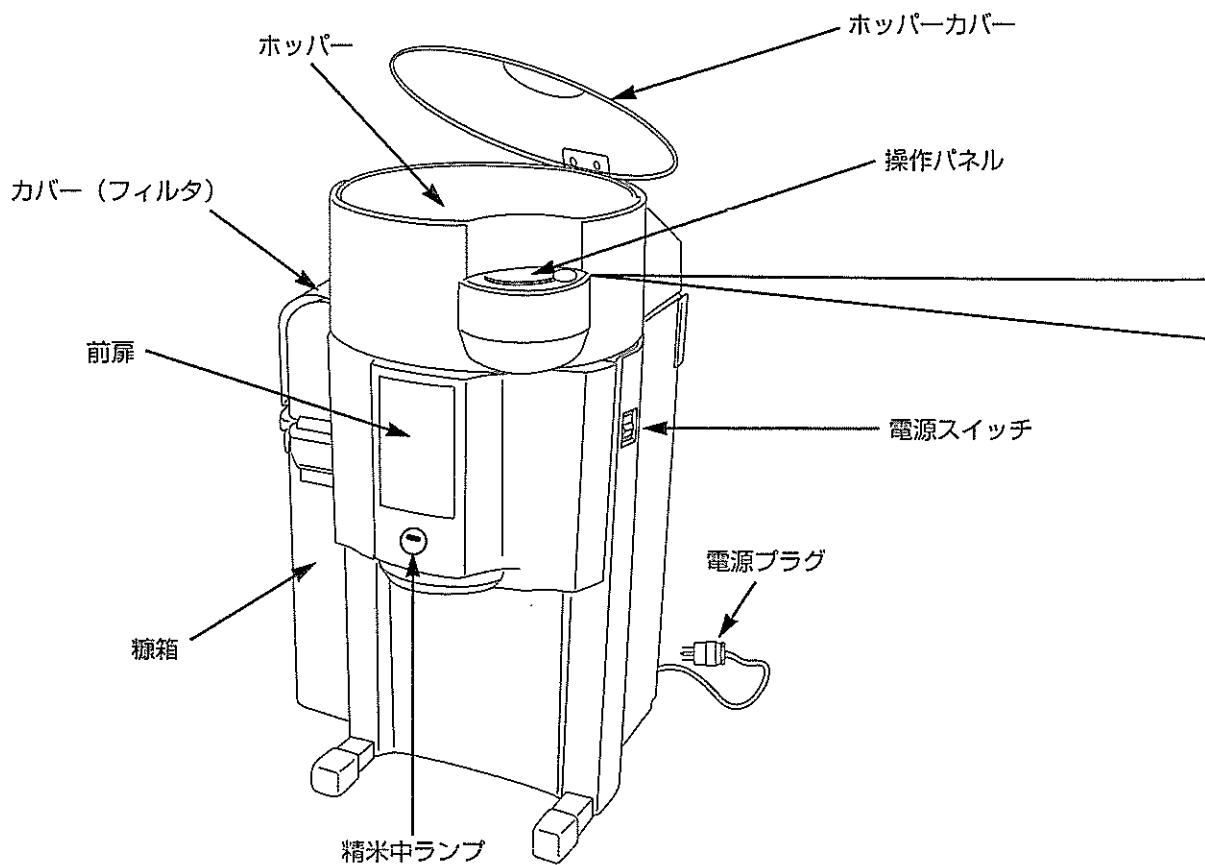
6

●低騒音●

防振ゴムを使用したフレーム構造と、
吸音材の使用により精米音が静かです。

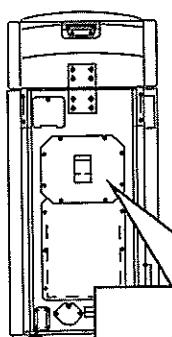
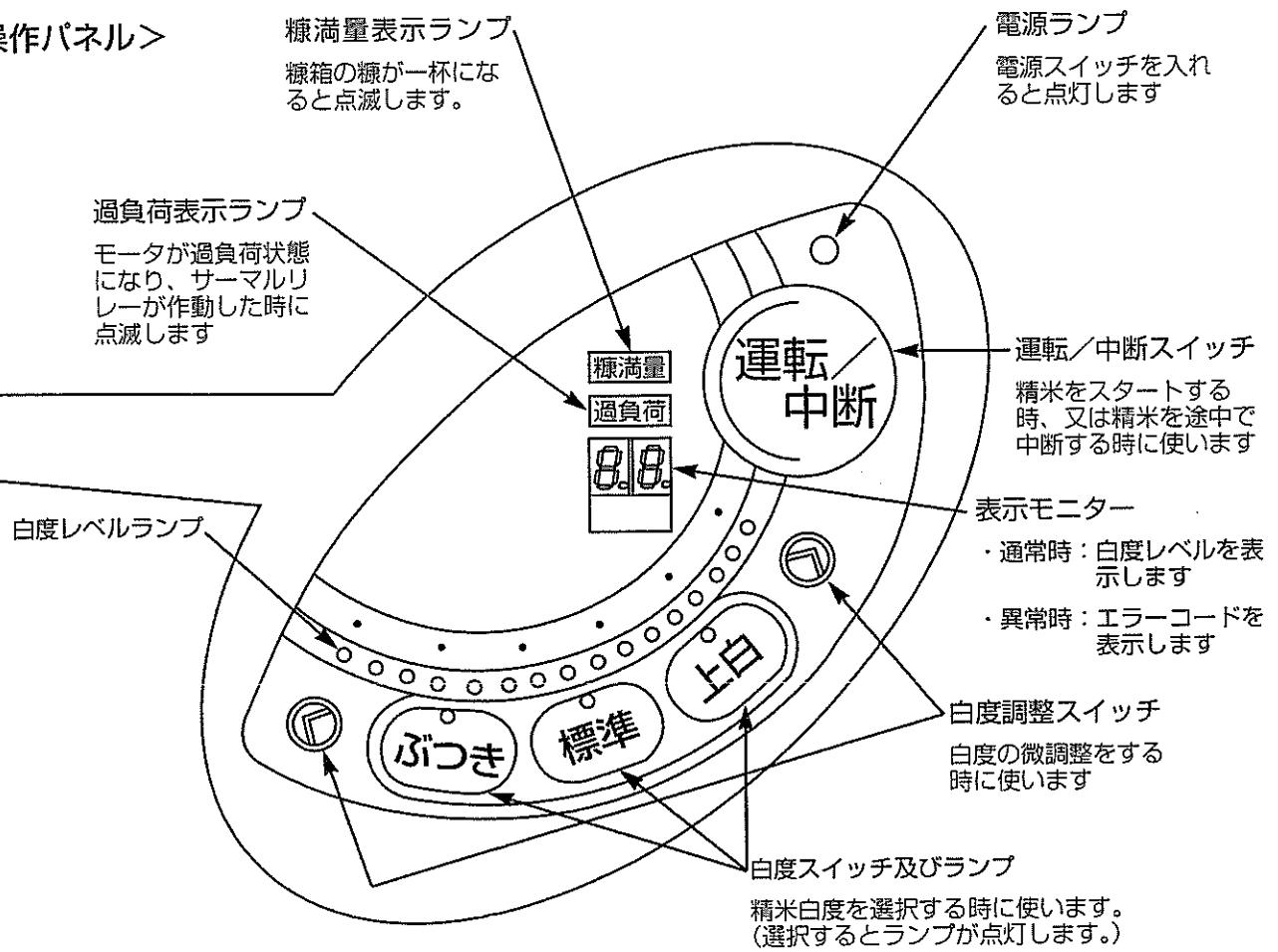
2. 各部の名称と配置

<本体>

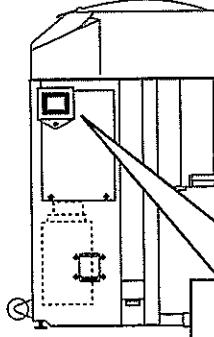
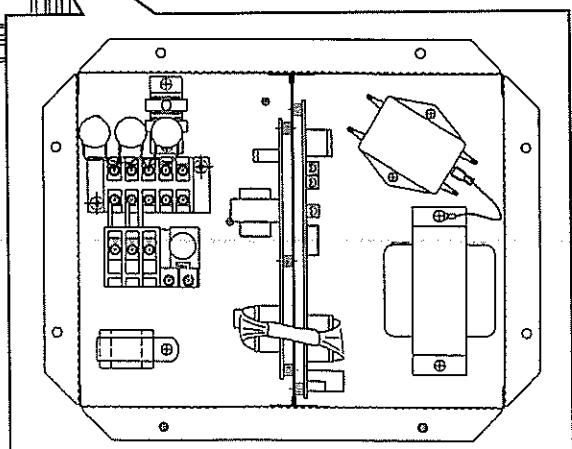


2. 各部の名称と配置

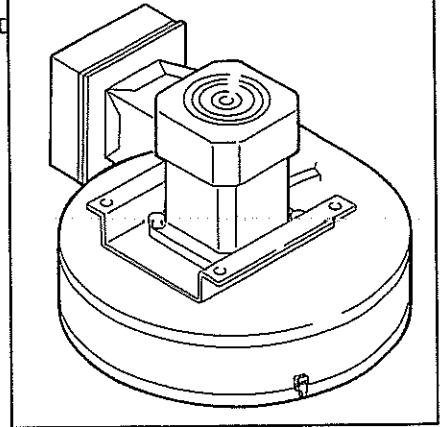
<操作パネル>



配電盤



糠ファン



3. 運転と操作

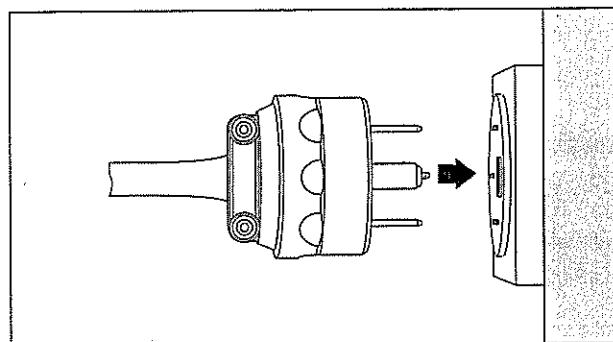
3-1 運転前の準備

▲ 注意

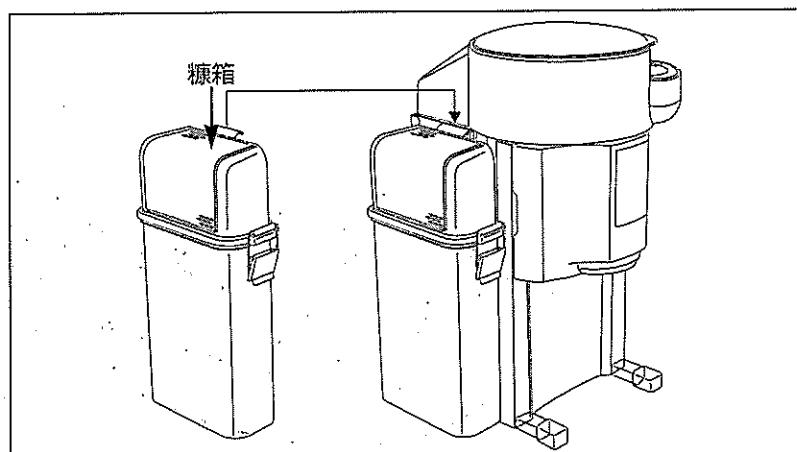
※初めてお使いのときは、運転前に必ず主モータの回転方向を確認してください。

P30「3.主モータの回転方向の確認」を御覧ください。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます



- ② 糜箱を取り付けます

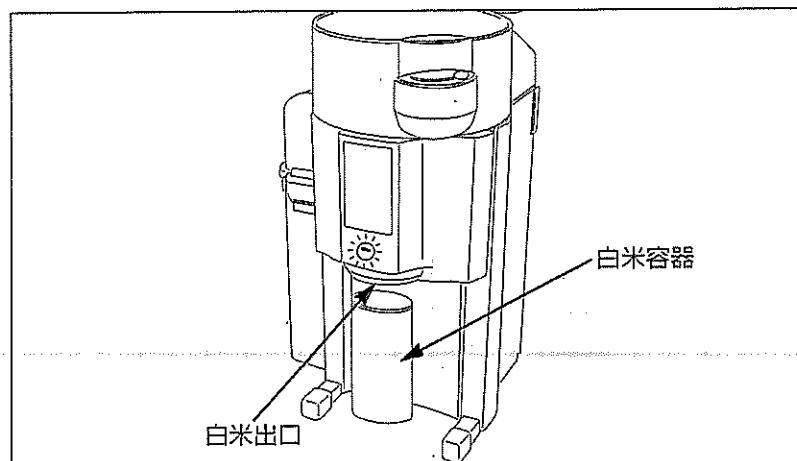


補足

糠箱が満杯になっていないか確認してください。

- ③ ホッパーの中にお米以外の異物が入っていないか確認してください

- ④ 白米を受けるために白米出口に白米容器を準備してください

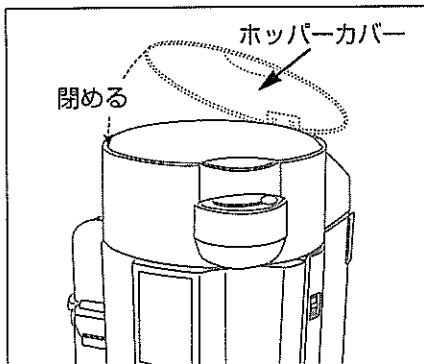


3. 運転と操作

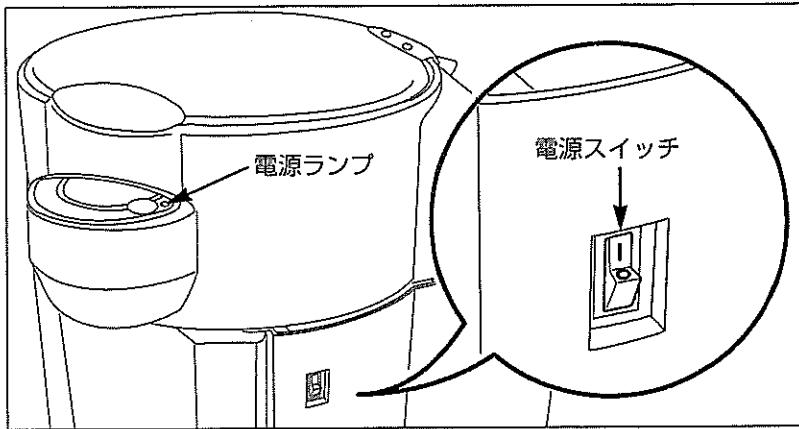
3-2 運転のしかた (ノーマルモード)

▲ 注意

※精米機内部の破損を引き起こすような異物の混入を防ぐため精米中はホッパーかバーを必ず閉めてください。



- ① 電源スイッチを入れてください (左側を押してください)



操作パネルの電源ランプが点灯し、白度レベルランプが点滅から点灯に変われば、精米が可能になります。

補足

表示モニターに数字以外の表示があらわされた時には、P28 7.モニタ一表示についての項に従って対処してください。

- ② ホッパーに玄米を投入してください

玄米の最低投入量は1kgです。

重要

玄米の投入量が1kg未満の場合、精米できないことがあります。

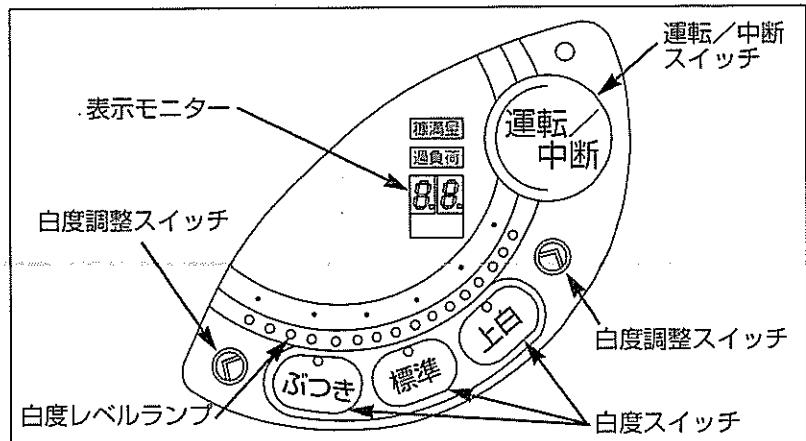
- ③ 白度スイッチ(ぶつき)・(標準)・(上白)を選択してください

選択したスイッチとその設定されている白度レベルランプが点灯し、表示モニターに数字が表示されます。

白度スイッチ以外の白度レベルで精米する場合には、白度調整スイッチ◀▶で微調整してください。

- ④ **運転／中断**スイッチを押してください

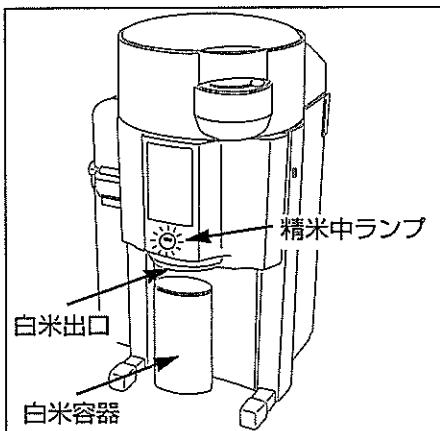
前扉の精米中ランプが点灯して、精米がスタートします。



3. 運転と操作

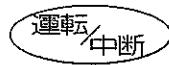
▲ 注意

※精米終了直前に白米の排出が一度とぎれます。精米中ランプが点灯中は白米を受ける容器をはずさないでください。



3-3 白度スイッチの 設定変更のしかた <ノーマルモード>

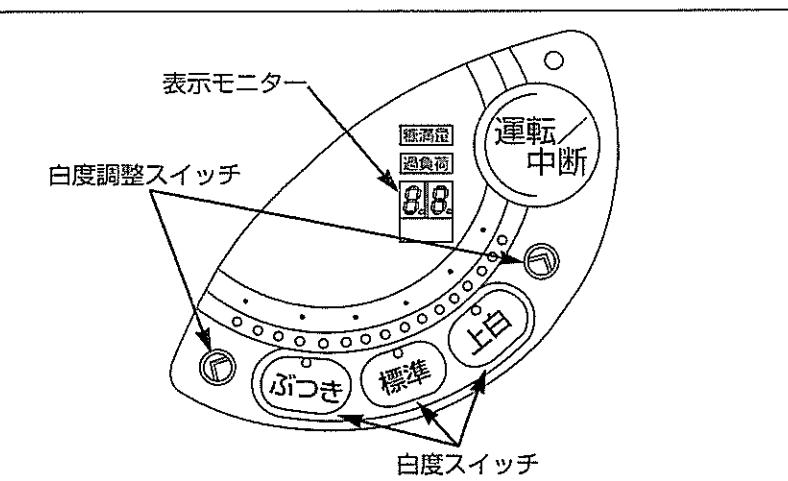
補足



スイッチを押してから白米が出るまで、約20~30秒かかります。

⑤ 玄米がなくなると自動的に精米は終了します

白度スイッチ(ぶつき) (標準) (上白) のいずれかのスイッチを押しながら、白度調整スイッチ◀▶で白度レベルを変更し、スイッチをはなすと、その白度レベルが設定されます



補足

白度レベルは工場出荷時には、(ぶつき)は□5・(標準)は□9・(上白)は□2に設定されています。

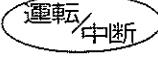
例

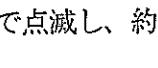
白度スイッチ(標準)の設定を□9から□1に変更したいとき

1. (標準)を押しながら、
2. ▶を二度押すと、
3. 表示モニターが□9→□1→□1と変更され、
4. (標準)をはなすと設定変更が完了します。

3. 運転と操作

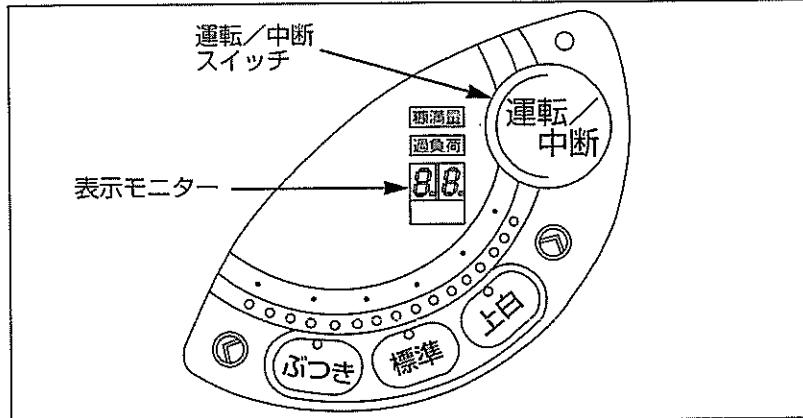
3-4 運転を中断する

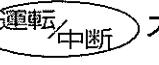
- ① 運転中に、運転を停止したい場合は、スイッチを押します

精米中ランプおよび表示モニターが  で点滅し、約5秒後に停止します。

補足

運転状態の違いにより、停止時間が長くなることがあります。

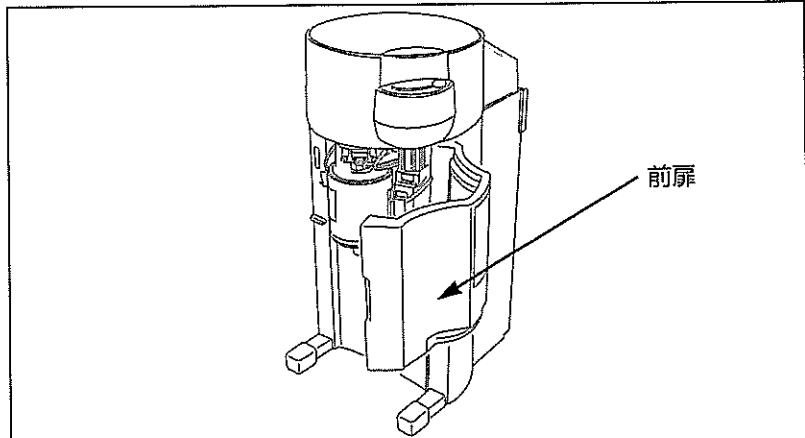


- ② 再起動する場合は、スイッチを押します

主モータが回転し、精米ランプが点灯し、約5秒後に白米が排出されます。

補足

停止状態の違いにより、再起動するまでの時間が長くなることがあります。又、再起動して出てくる米の白度は、ムラになることがあります。



補足

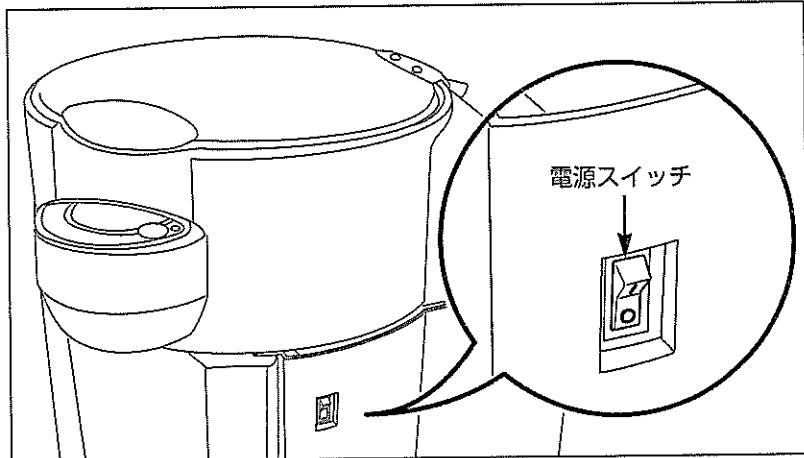
精米中に前扉を開けた場合も上記のように運転が停止します。

再起動する場合には、前扉を閉めてから スイッチを押してください。

3. 運転と操作

3-5 非常停止する

- ① 電源スイッチを切ってください（○側を押します）
機械はただちに停止します。



② 再起動する場合

1. 電源スイッチを入れます（|側を押します）
2. **運転／中断**スイッチを押します

搗精室に残っている玄米が最初に排出されます。

重 要

再起動する場合には、最初に玄米が出ますので、白米出口に別の容器を用意してください。

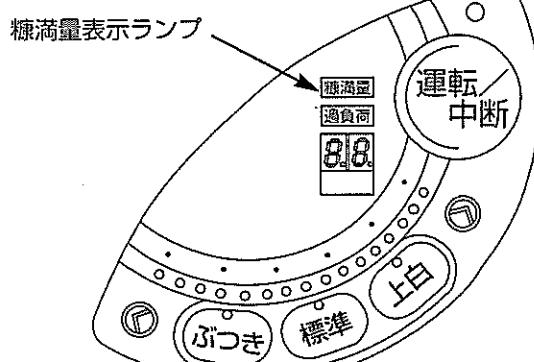
3. 運転と操作

3-6 糜満量表示と糠箱のそじ

① 糜箱に、約6Kgの糠がたまると糠満量表示ランプが点滅します

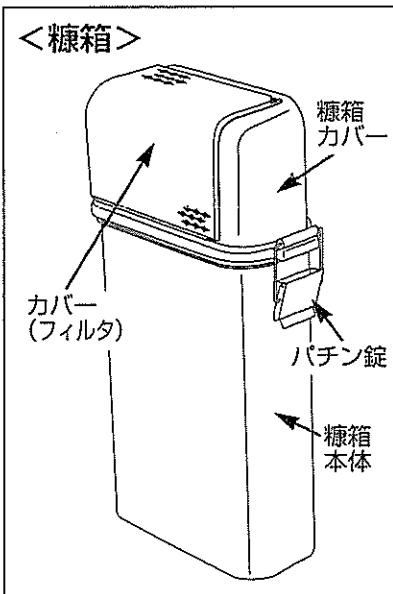
糠満量表示ランプについて

運転中にこのランプが点滅しても、ホッパーに残っている玄米は精米できますが、次の精米はできません。



② 糜満量表示ランプが点滅時、次の要領で糠箱のそじを行います

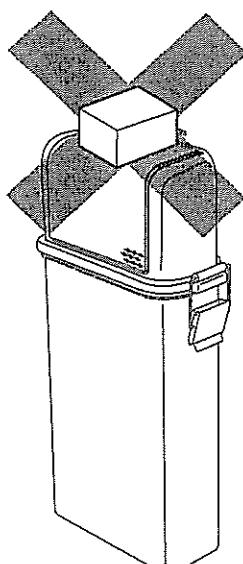
1. 糜箱を機械の本体からはします
2. パチン錠をはずし、糠箱カバーをはずしてください、糠箱本体にたまつた糠を排出します
3. 糜箱カバーの内側の糠を落としてください



重要

フィルタが目づまりしていると白米の仕上がりが悪くなります。

4. 糜箱カバーを取り付け、糠箱をはずした逆の順で取りつけてください



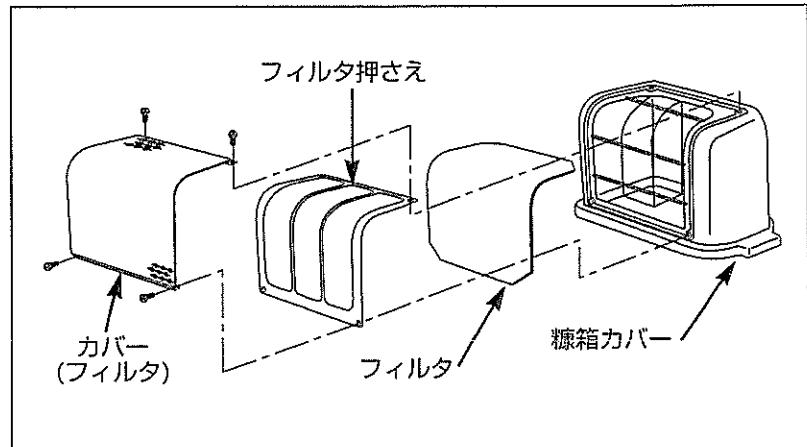
3. 運転と操作

フィルタの汚れがひどい時

1. 糖箱カバーを外します
2. カバー(フィルタ)とフィルタ押さえを取り外し、フィルタを外します
3. フィルタを清掃してください
4. 取り外した逆の手順で取り付けます

重要

フィルタは水洗いしないでください、フィルタの繊維を痛めてフィルタ性能を悪化させます。



3. 運転と操作

3-7 過負荷表示について

過負荷運転により配電盤内部のサーマルリレーが作動し、主モータが停止した時に過負荷表示ランプが点滅します。

このような場合には、次のように対応してください。

① 電源スイッチを切ってください（○側を押します）

② 主モータが過負荷になった原因を取り除いてください

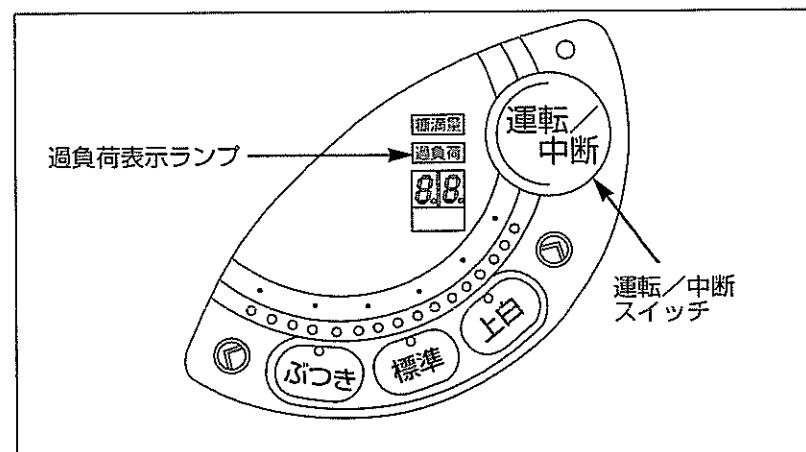
サーマルリレーは自動的にリセットされますが、数分間かかります。電源スイッチを入れて過負荷表示ランプが消灯していれば、再起動は可能です。

③ 再起動する場合には、

1. 電源スイッチを入れます（|側を押します）

2. **運転／中断**スイッチを押します

搗精室に残っている玄米が最初に排出されます。



補足

運転中に過負荷により運転が停止した場合には、搗精室にお米が残っていますので、**運転／中断**スイッチを押し運転すると、最初に玄米が出ます。

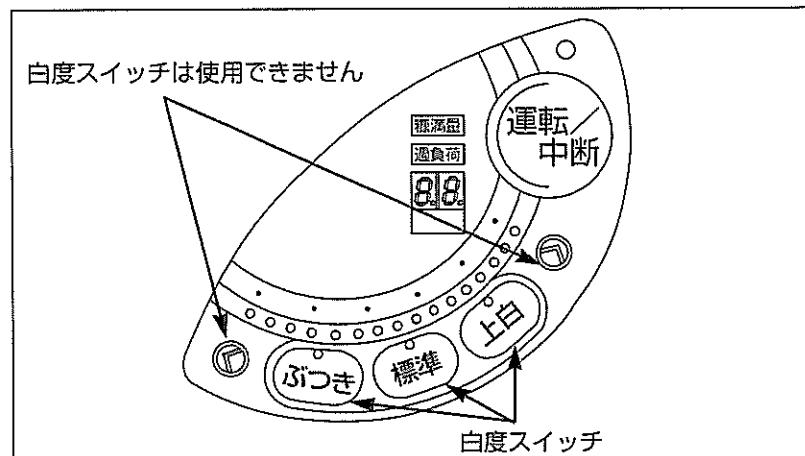
④ 電源スイッチを入れても、まだ過負荷表示ランプが点滅している場合は、電源スイッチを切り、数分間待った後③の操作をしてください

3. 運転と操作

3-8 ノーマルモード からセルフモード への切換え

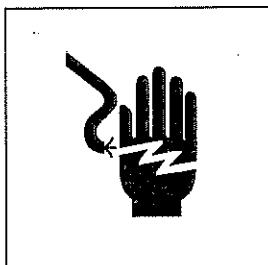
セルフモード運転とは

白度スイッチ(ぶつき) (標準) (上白) でのみ白度レベルの切換えが可能です。白度調整スイッチは使用できません。



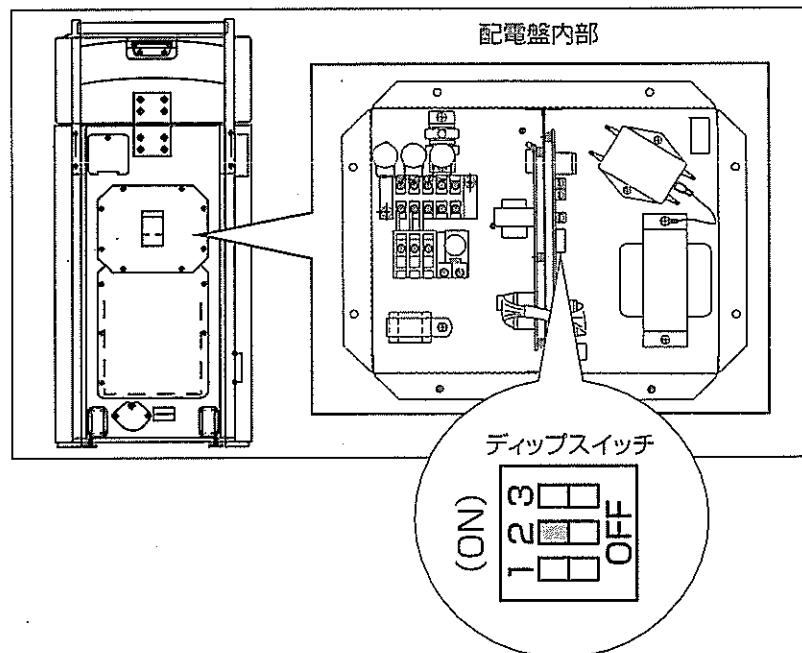
警告

※配電盤内には、高電圧部があり、感電の恐れがあります。作業をするときには必ず電源プラグを抜いてください。



● <セルフモード>への切換え

機械後部の配電盤内のディップスイッチ2をONにします



補足

ディップスイッチの切換え内容は下表の通りです。

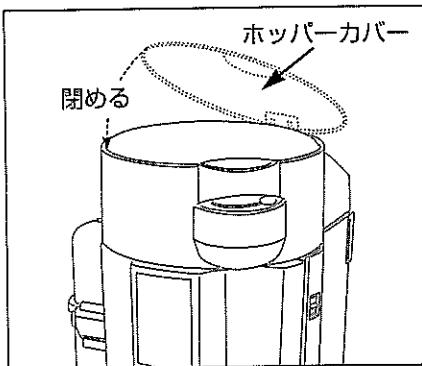
	内 容	ON	OFF
1.	電源周波数の切換え	50Hz	60Hz
2.	運転モードの切換え	セルフモード	ノーマルモード
3.	常にOFF	×	○

3. 運転と操作

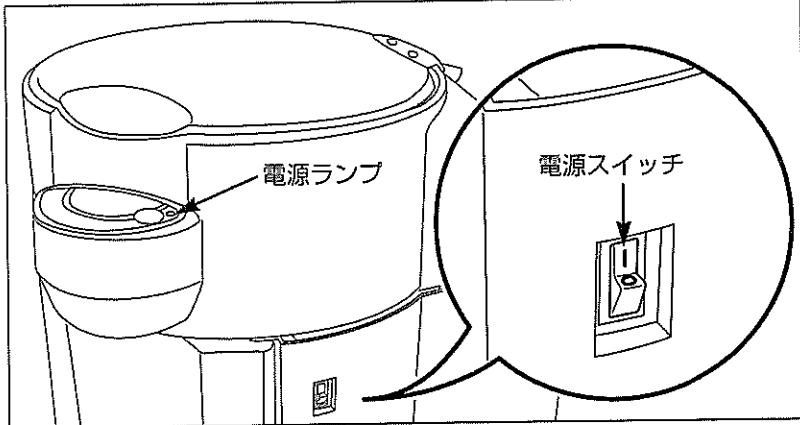
3-9 セルフモードでの運転のしかた

▲ 注意

※精米機内部の破損を引き起こすような異物の混入を防ぐため精米中はホッパーかバーを必ず閉めてください。



- ① 電源スイッチを入れてください (I 側を押してください)



操作パネルの電源ランプが点灯し、白度レベルランプが点滅から点灯に変われば、精米が可能になります。

補足

表示モニターに数字以外の表示があらわれた時には、P28 7.モニタ一表示についての項に従って対処してください。

- ② ホッパーに玄米を投入してください

最低投入量は1kgです。

重要

玄米の投入量が1kg未満の場合、精米できないことがあります。

- ③ 白度スイッチ(ぶつき) (標準) (上白) を選択してください

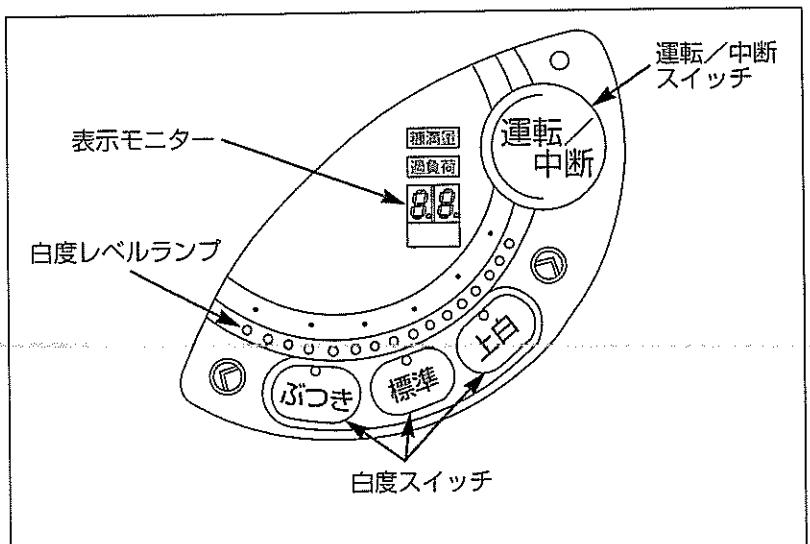
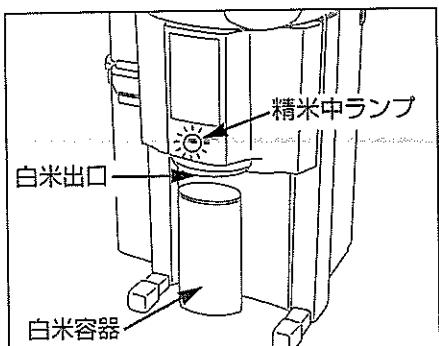
選択したスイッチとその設定されている白度ラベルランプが点灯し、表示モニターに数字が表示されます。

- ④ スイッチを押してください

前扉の精米中ランプが点灯して、精米がスタートします。

▲ 注意

※精米終了直前に白米の排出が一度とぎれますが、精米中ランプが点灯中は白米を受ける容器をはずさないでください。



3. 運転と操作

3-10 セルフモードでの白度スイッチの設定変更のしかた

補足

運転/中断 スイッチを押してから白米が出るまで、約20~30秒かかります。

⑤ 玄米がなくなると自動的に精米は終了します

① **運転/中断** スイッチを押しながら電源スイッチを入れます

モニター表示が **□□** の表示になります。(設定モードになります。)

② 白度スイッチ (**ぶつき**) (**標準**) (**上白**) のいずれかのスイッチを押しながら、白度調整スイッチ **(◀▶)** で白度レベルを変更し、スイッチをはなすと、その白度レベルが設定されます

例

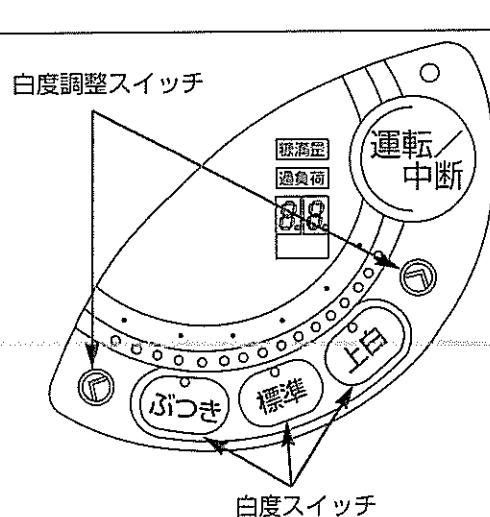
白度スイッチ (**標準**) の設定を **□□** から **□□** に変更したいとき

1. **(標準)** を押しながら、
2. **(▶)** を二度押すと、
3. モニターが **□□** → **□□** → **□□** と変更され、
4. **(標準)** をはなすと設定変更が完了します。

③ 設定モードを解除するには電源スイッチを切り、もう一度入れると、運転が可能となります

補足

設定モードで3分間何もしなければ、自動的に設定モードが解除され通常運転が可能となります。

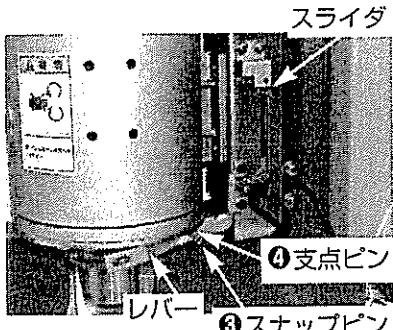


4. 日常のお手入れ

4-1 白米出口のそうじ (毎週)

① 電源スイッチを入れてください

白度調整機構のスライダが上端まで移動し、抵抗リングを取りはずせる状態になります。

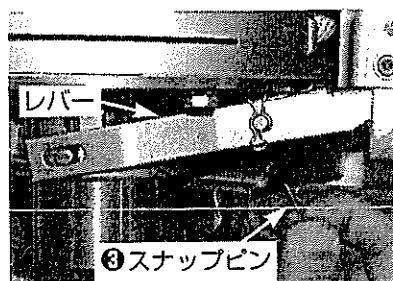


補足

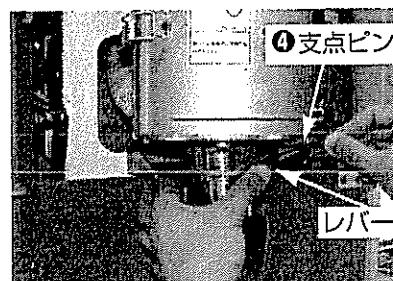
電源スイッチを入れてもスライダが上端位置に移動しない場合には、もう一度電源スイッチの切り・入り操作をしてください。

② 電源スイッチを切り電源プラグを抜いてください

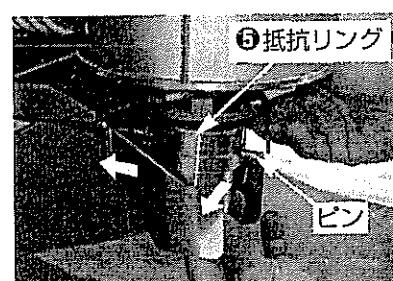
③ レバー内側についているスナップピンを外します



④ レバーを持って支点ピンを抜いてください



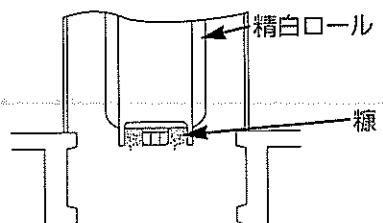
⑤ 抵抗リングを下げる、抵抗リングのピンをかわしてレバーからはずします



⑥ 抵抗リング内の糠を取り除きます

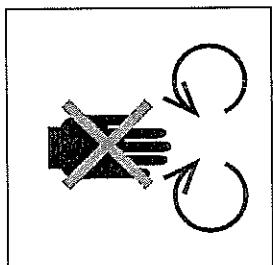


⑦ 精白ロール下端の糠を取り除きます。



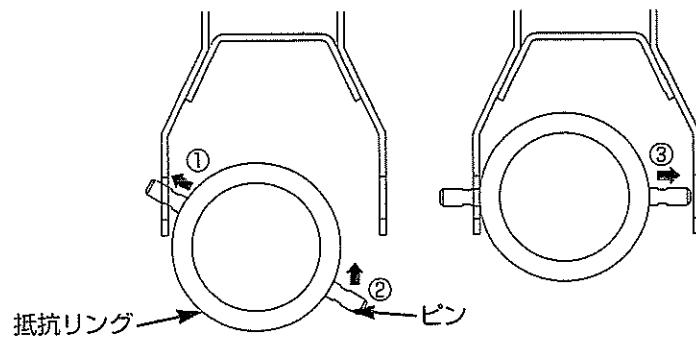
▲ 注意

※ そうじは必ず電源プラグを抜いて行ってください。

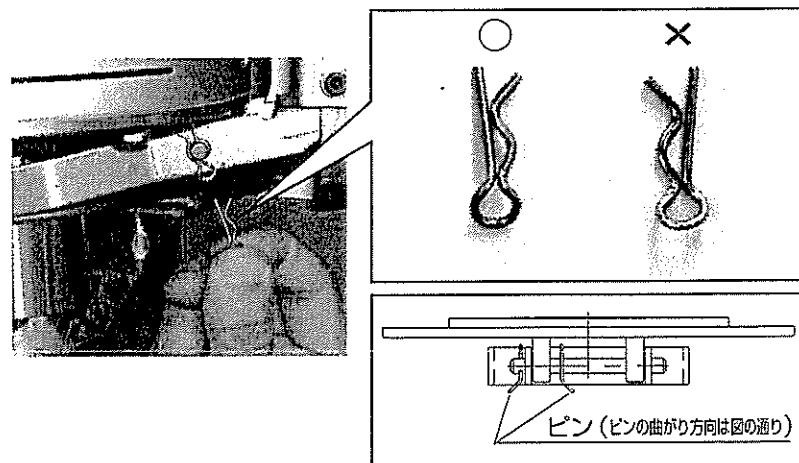


4. 日常のお手入れ

- ⑧ 抵抗リングのピンをレバーに引っ掛けます
- ⑨ ピンをレバーに引っ掛けた状態で、抵抗板ガイド内に抵抗板を入れながら、抵抗リングを上げていきます



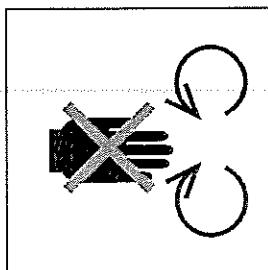
- ⑩ 支点ピンを差し込み、スナップピンで留めます
なお、スナップピンの方向は図のようにしてください。



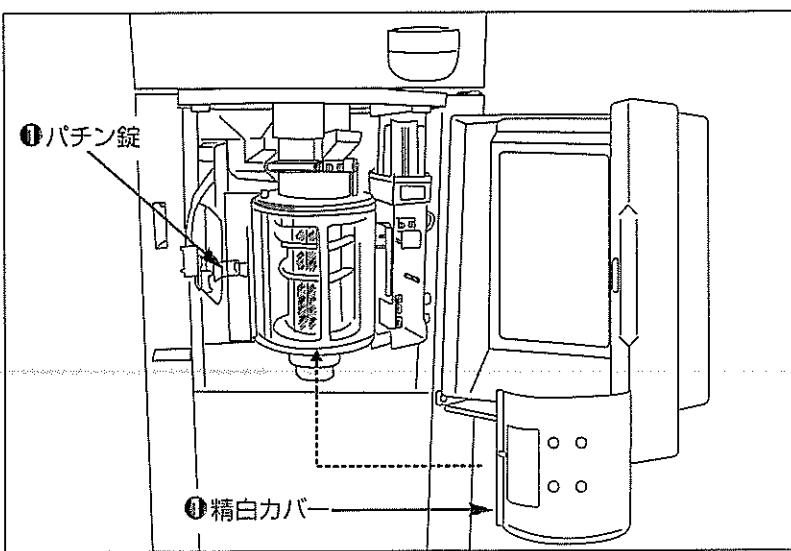
4-2 精白カバー内のそうじ (毎週)

▲ 注意

※ そうじは必ず電源プラグを抜いて行ってください。



- ① パチン錠をはずし、精白カバーを取りはずします
- ② 精白カバー内の糠を取り除きます
- ③ 精白カバーを取り付けます

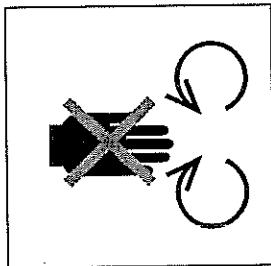


4. 日常のお手入れ

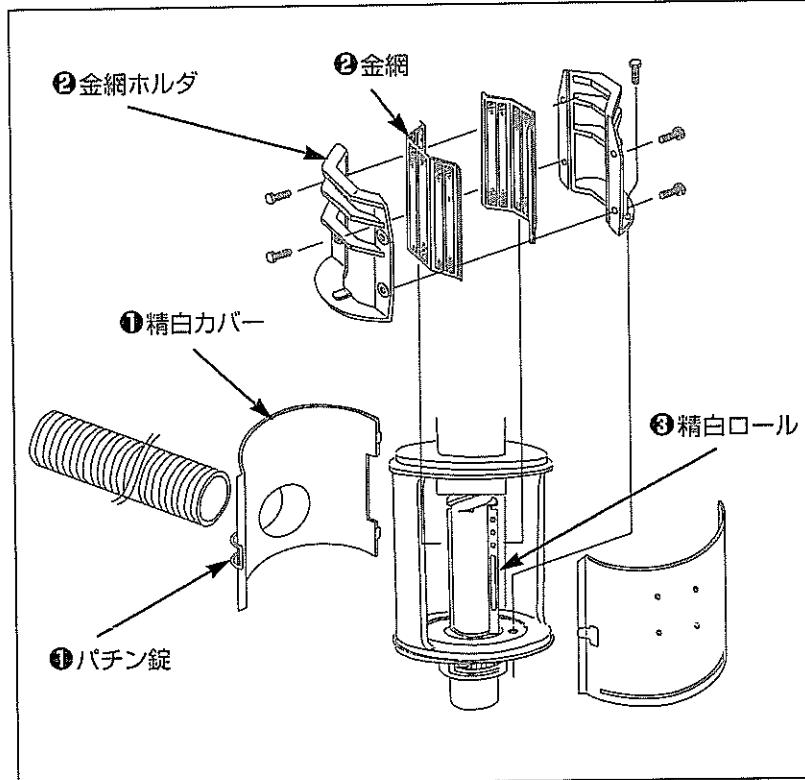
4-3 精白ロールのそうじ (毎月)

⚠ 警告

※機械に巻き込まれ負傷する恐れがあるので、必ず電源プラグを抜いて作業してください。



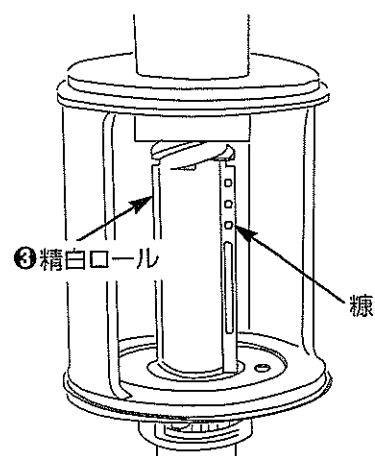
① パチン錠をはずし、精白カバーを取りはずします



② 金網をはずします

金網ホルダを取り付けている5本のボルトをはずしてください。

③ 精白ロールに付着している糠を取り除いてください



重要

特に穴の部分に入り込んでいる糠は、精米の仕上がりを悪くするのできれいに取り除いてください。

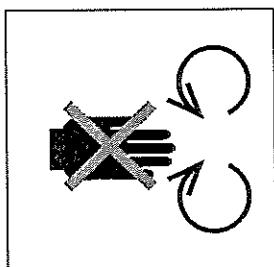
④ 金網、精白カバーを取り付けます

4. 日常のお手入れ

4-4 糜ファンケースのそうじ (毎月)

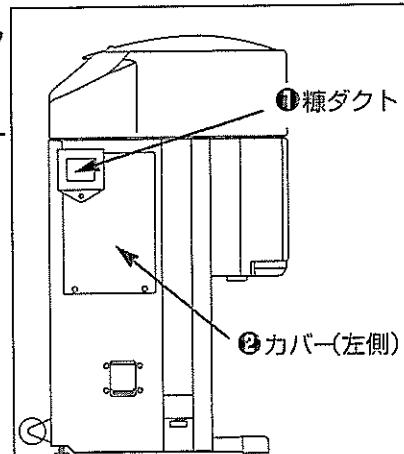
⚠ 警告

※機械に巻き込まれ負傷する恐れがあるので、必ず電源プラグを抜いて作業してください。



- ① 機械に向かって左側の糠ダクトを取りはずします

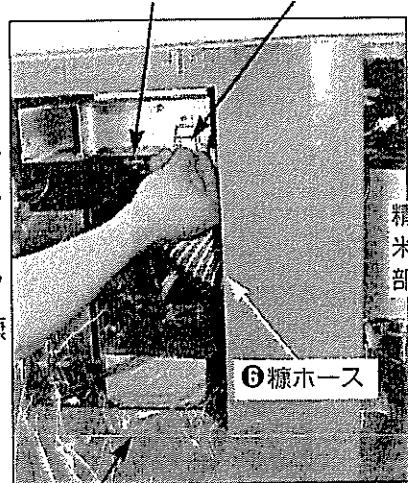
- ② 機械に向かって左側のカバーを取りはずします



- ③ 付属の清掃用シートをファン下側に敷きます

⑤ ファンカバー ⑥ パチン錠

- ④ 糜ホースを精米部側から取りはずします



- ⑤ 3ヶ所のパチン錠をはずしファンカバーを取りはずします

- ⑥ ファンケース内部、糠ダクト内部、糠ホース内部の糠を取り除きます

③ 清掃用シート

補足

糠ホースにひび割れがないか、点検してください。

- ⑦ ファンカバー、糠ホースを取り付けます

- ⑧ 清掃用シートから糠が落ちないようにシートを引き出してください

- ⑨ カバー、糠ダクトを取り付けます

重要

清掃用シートは機械内に放置しないでください。

運転時ブレーザーに巻き込まれて、故障の原因となる恐れがあります。

4. 日常のお手入れ

4-5 本体内外のそうじ

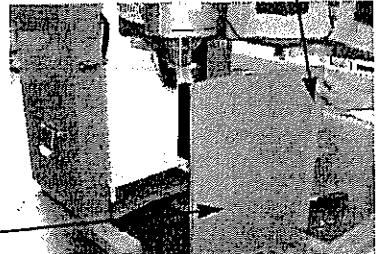
▲ 注意

※機械に直接水をかけてそうじをしないでください。故障や漏電の原因になります。

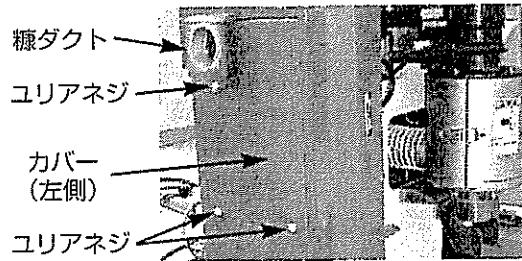
〈内部のそうじ〉

- ① カバー(前)をはずしてください。(ビス止め4ヶ所)

ビス止め



- ② 糸ダクトとカバー(左側)をはずしてください。(ユリアネジ3ヶ所)



- ③ カバー(右側)(ビス止め4ヶ所)、配電盤カバー(ビス止め8ヶ所)、後ろカバー(ビス止め6ヶ所)

をはずしてください。



- ④ 掃除機などで、糸、ゴミなど

を取り除いてください。



- ⑤ そうじ後は、はずしたパネル類を取り付けてください。

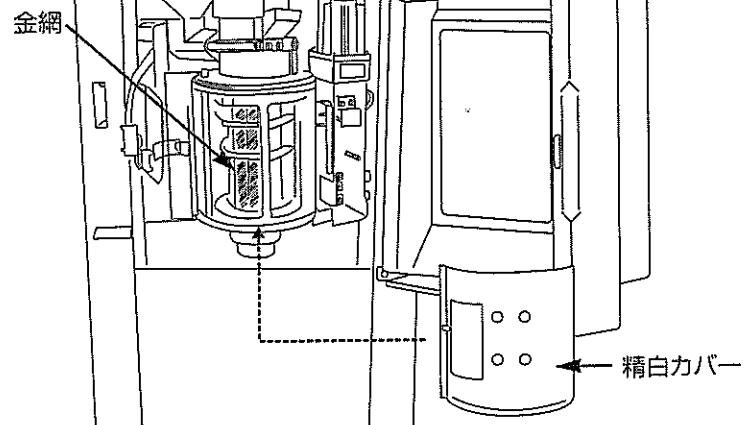
〈外部のそうじ〉

ホッパー、前扉、糸箱等の樹脂部分の汚れを落とすときは薄めた中性洗剤を使用してください。

(みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、酸性系洗剤、アルカリ性系洗剤、石油、熱湯、たわし、化学ぞうきん等は塗装面を傷めたり、樹脂部分にひび割れを発生させる可能性があるので、使用しないでください。)

5. 消耗部品の交換のしかた

5-1 金網の交換



〈交換の目安〉

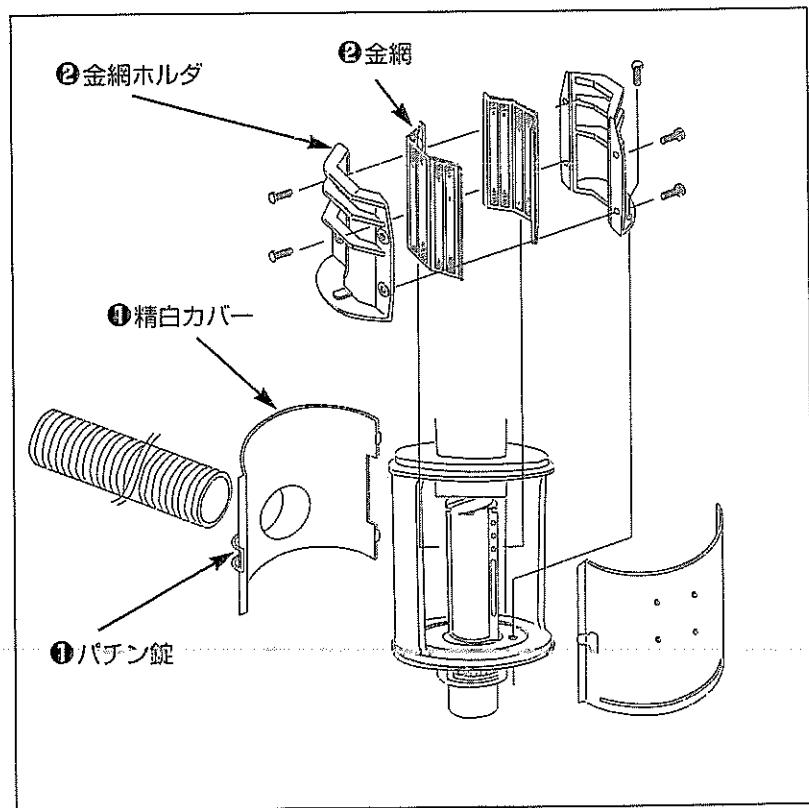
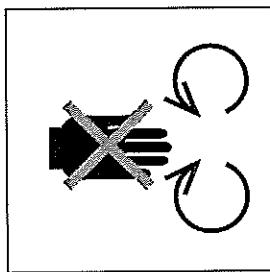
白度レベルを上げて精米しても、お米が白くならなくなったり、精米の始まりや終わりに出てくるお米が白くならなくなると交換時期です。

〈金網交換のしかた〉

① パチン錠をはずし、精白カバーを取りはずします

⚠ 警告

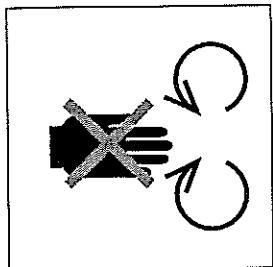
※機械に巻き込まれ負傷する恐れがあるので、必ず電源プラグを抜いて作業してください。



5. 消耗部品の交換のしかた

⚠ 警告

※機械に巻き込まれ負傷する恐れがあるので、必ず電源プラグを抜いて作業してください。



5-2 Vベルトの交換

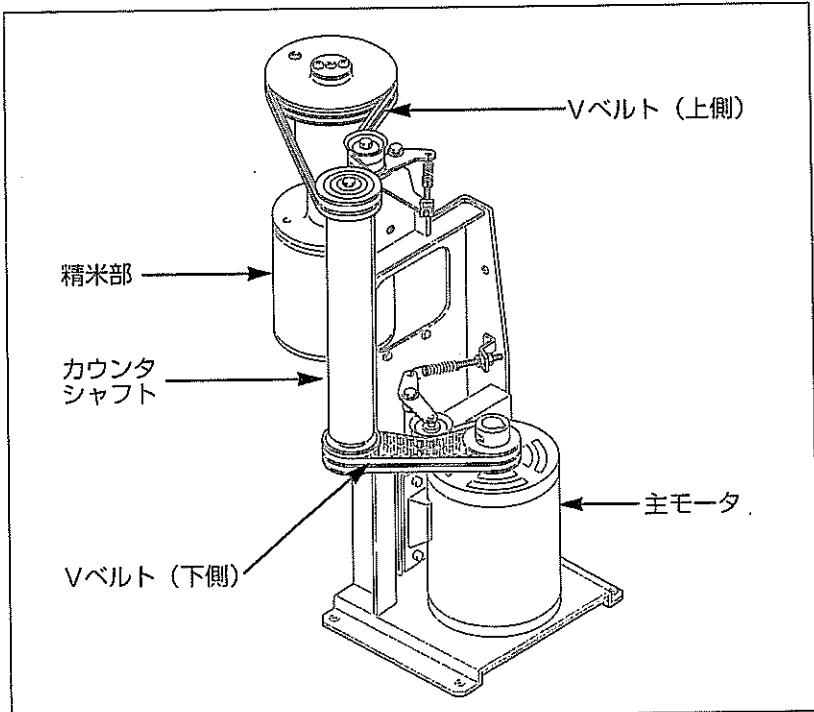
② 金網をはずします

金網ホルダを取り付けている5本のボルトをはずしてください。

③ 金網、精白カバーを取り付けます

この機械には、2組のVベルトが使用されています。

上側のVベルトはホッパー内側に、下側のVベルトは機械本体内部にあります。



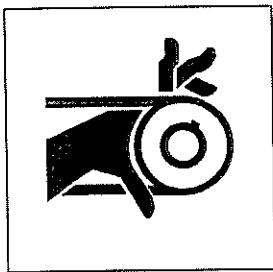
〈交換の目安〉

Vベルトにひび割れが発生したり、Vベルトの張りを調整してもVベルトがすべるようになったら交換してください。

5. 消耗部品の交換のしかた

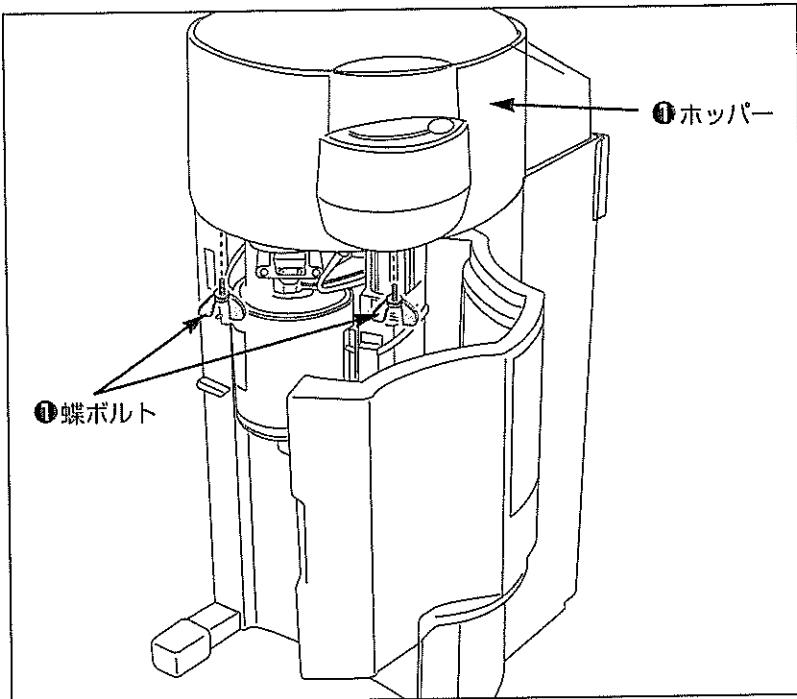
▲警告

※機械に巻き込まれ負傷する恐れがあるので、必ず電源プラグを抜いて作業してください。



上側のVベルトの交換

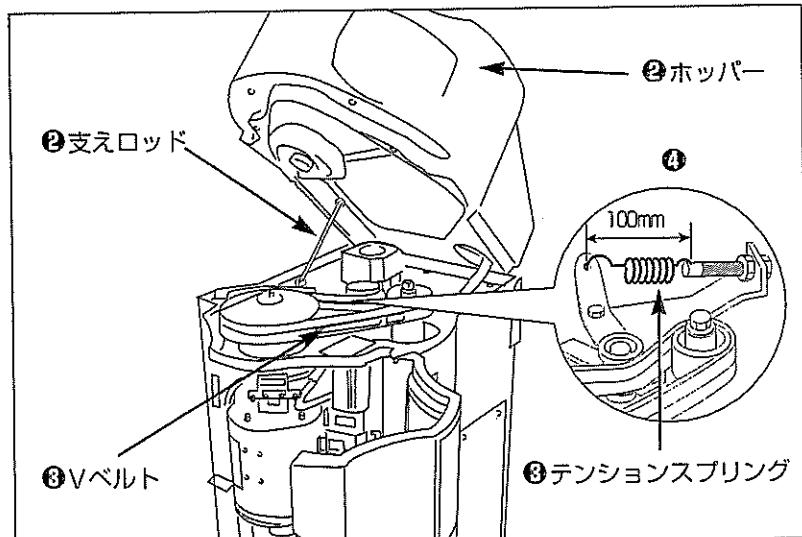
- ①前扉を開け、ホッパーを固定している蝶ボルトをはずします



- ②ホッパーを開け、支えロッドでホッパーを保持します

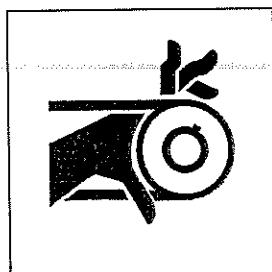
- ③テンションスプリングをゆるめVベルトをはずします

- ④新しいVベルトをかけ、テンションスプリングの長さが100mmになるように張ってください



！警告

※運転中ホッパーを開くと危険ですので、必ず蝶ボルトでホッパーを固定してください。



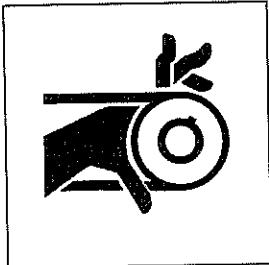
- ⑤支えロッドをホルダーに収め、ホッパーを閉め、蝶ボルトで固定してください

- ⑥前扉を閉めてください

5. 消耗部品の交換のしかた

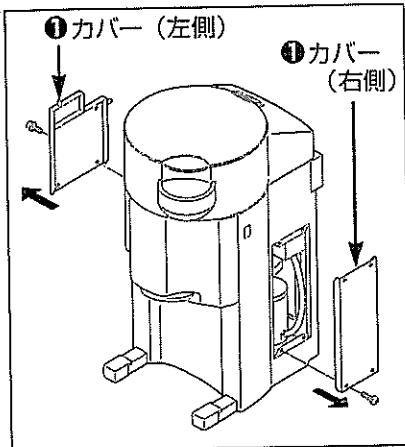
⚠ 警告

※機械に巻き込まれ負傷する恐れがあるので、必ず電源プラグを抜いて作業してください。

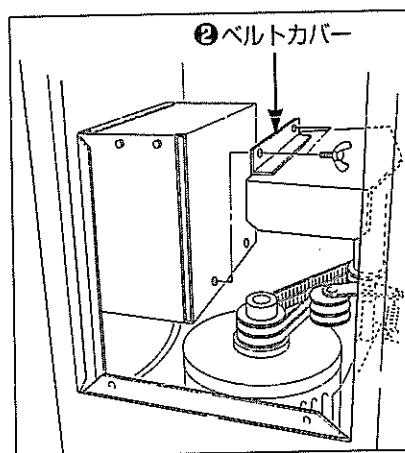


下側のVベルトの交換

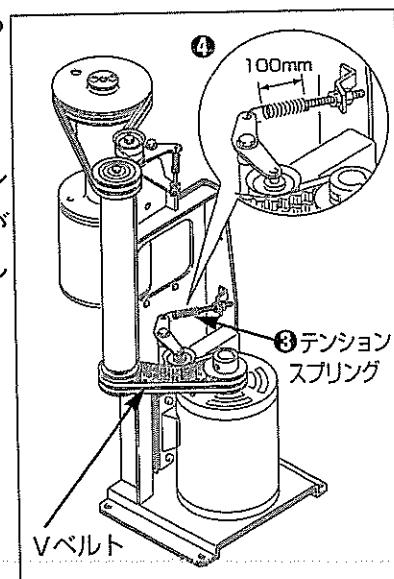
- ① 機械に向かって右側および左側のカバーをはずします



- ② ベルトカバーをはずします



- ③ テンションスプリングをゆるめ、Vベルトをはずします

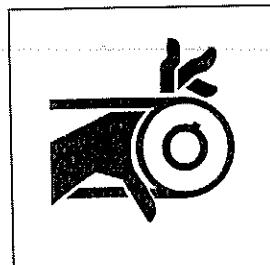


- ④ 新しいVベルトをかけ、テンションスプリングの長さが100mmになるように調整してください

- ⑤ ベルトカバーを取り付けてください
⑥ 機械に向かって右側および左側のカバーを取り付けてください

⚠ 注意

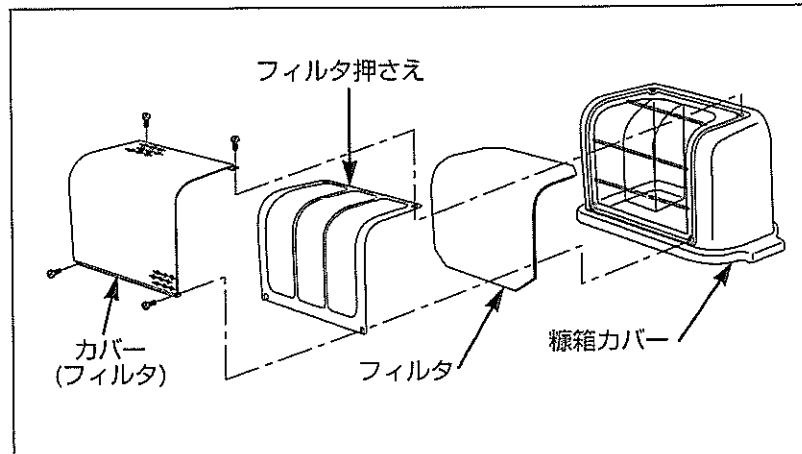
※取りはずしたベルトカバーは、必ず元のよう取り付けてください。



5. 消耗部品の交換のしかた

5-3 糖箱フィルタの交換

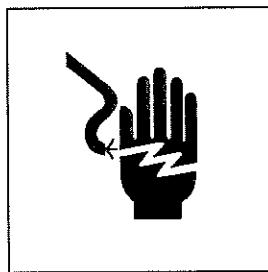
- ① カバー(フィルタ)とフィルタ押さえを取りはずし、フィルタをはずします
- ② 新しいフィルタをカバー(フィルタ)とフィルタ押さえで取り付けます



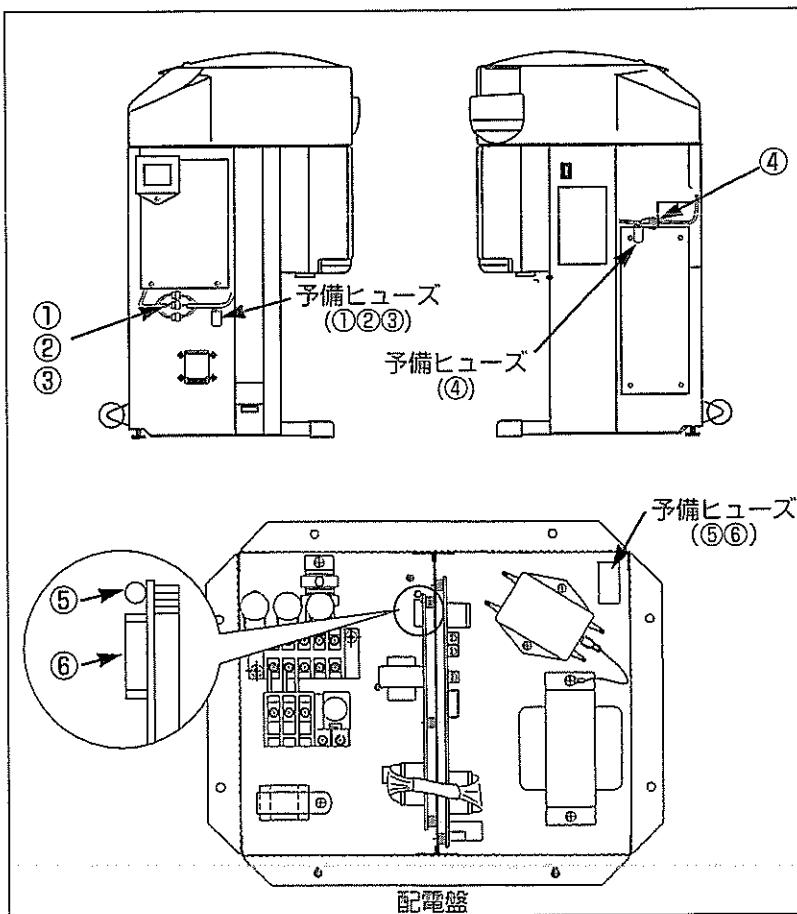
5-4 ヒューズの交換

！警告

※配電盤内には、高電圧部があり、感電の恐れがあります。作業する時には必ず電源プラグを抜いてください。



ヒューズの位置は図の通りです。



①～④の予備ヒューズはヒューズホルダの隣の小袋の中に入ります。
⑤⑥の予備ヒューズは配電盤右上部の袋の中に入ります。

5. 消耗部品の交換のしかた

①バネモータ用	0.2A	250V
②スクリューモータ用	0.2A	250V
③ファンモータ用	2A	250V
④電源用	3A	250V
⑤センサ用	0.1A	250V
⑥センサ用	0.1A	250V

重要

※ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、すぐに販売店の点検を受けてください。

6. 故障かな？サービスを依頼される前にご確認ください

症 状	調べるところ、原因	処 置	参照頁
・電源ランプがつかない	・電源が入っていない	・電源を確認する	
	・電源プラグが抜けている	・電源プラグをコンセントに確実に差し込む	
	・ヒューズが切れている	・ヒューズを交換する	P25
・運転がスタートしない	・モニターがエラー表示している	・『7.モニター表示について』の項に従って対処する	P28
	・電源のいずれか三相が欠相になっている	・配線を確認する	
・主モータが回っているのに白米が出てこない	・スクリュが回転していない	・スクリュに、異物がかみ込んでいないか確認する ・スクリュモータのヒューズが切れていないか確認する	P25
	・主モーターの回転方向が逆向き	・『8.精米機の据付要領』の項に従って主モーターの回転方向を確認する	P30
・お米が白くならない	・白度設定が不適正	・白度を正しく設定する	P7,P15
	・金網が摩耗している	・金網を交換する	P21
・お米の糠切れが悪い	・糠ホースがはずれている	・糠ホースを取り付ける	
	・糠ホースに破れや破損がある	・糠ホースを交換する	
	・精白力バーがはずれている	・精白力バーを正しく取り付ける	
	・ファンが回転しない	・ファンモータのヒューズを確認する	P25
	・糠箱が満杯で運転している	・糠満量センサの作動を確認する ・糠箱をそうじする ・ファン、ダクト内部をそうじする	P10 P10 P19
	・フィルタが糠で目詰まりしている	・フィルタをそうじする	P10
	・糠箱の上に物を置いている	・糠箱の上に物を置かない	P10
	・糠白ロールの穴が糠でつまっている	・糠を取り除く	P18
・糠の中にお米が混じる	・金網が破損している	・金網を交換する	P21
・初期精米で玄米が出る	・スクリュの回転数が不適正	・販売店にご相談ください（スクリュの回転数を確認する）	
	・スクリュに糠や異物が付着している	・販売店にご相談ください（スクリュの糠や異物を除去する）	
	・白度調整モータ（バネモータ）が回らない	・白度調整モータ（バネモータ）のヒューズを確認する	P25
・運転途中で終了てしまい、ホッパーに玄米が残る	・スクリュに異物が、かみ込んでいる	・異物を取り除く	

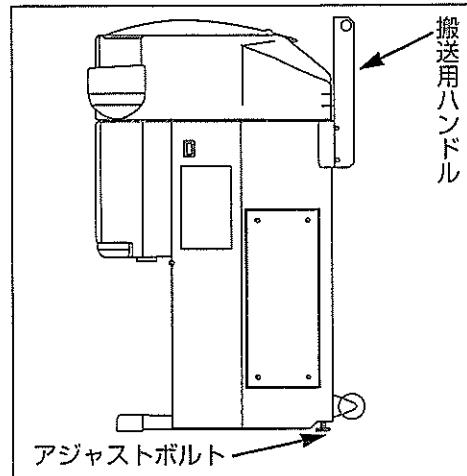
7. モニター表示について

表示	内 容	原 因	処 置	参照頁
I S 15	精米白度レベルを示しています	—	—	
E	運転が中断している	—	運転 中断 スイッチを押すと 運転します	
F0	前扉が開いている	—	前扉を閉める	
H0	ホッパーが開いている	—	ホッパーを閉める	
PP	セルフモード時の白度設定中	—	『3-10セルフモードでの白度スイッチの設定変更のしかた』参照	P15
E1	サーマルリレーが作動している (過負荷ランプ点滅)	主モータが過負荷状態になつ ている。 電源不良	『3-7 過負荷表示につい て』参照 販売店に連絡してください	P12
E2	スクリュモータの回転数が異常 です	異物がかみ込んでスクリュが 回転しない ヒューズが切れている スクリュモータが故障している リレー基板が故障している CPU基板が故障している	異物を取り除く ヒューズ交換 販売店に連絡してください 販売店に連絡してください 販売店に連絡してください	P25
E3	三相の内のいずれかの相の電 源電圧が異常低下している	電源異常 センサ基板が故障している ヒューズが切れている	販売店に連絡してください 販売店に連絡してください ヒューズ交換	P25
E4	白度調整スライダの下限から上 限に移動する時間が長すぎる	白度調整機構のオクリネジ部 の油切れ	グリスを塗布する	
E5	白度調整スライダが上限位置又 は下限位置から移動できない	白度調整スライダが、かみ込ん で動かない 上限又は下限のリミットスイッ チが故障している	かみ込みを除去しオクリネジ 部にグリスを塗布する 販売店に連絡してください	
E6	白度調整機構部のリミットスイ ッチが共にONしている	上限又は下限のリミットスイッ チが故障している	販売店に連絡してください	
E7	白度調整スライダが20秒以内 に上下限のいずれかに移動し ない	白度調整スライダが、かみ込ん で動かない 白度調整モータ(バネモータ) 用ヒューズが切れている 白度調整モータ(バネモータ) が故障している 上限又は下限のリミットスイッ チが故障している	かみ込みを除去しオクリネジ 部にグリスを塗布する ヒューズ交換 販売店に連絡してください 販売店に連絡してください	P25
EC	電源投入時のメモリ診断NG	電池が切れている CPU基板が故障している	販売店に連絡してください 販売店に連絡してください	
EO	電源投入時の自己診断NG	CPU基板が故障している	販売店に連絡してください	

8. 精米機の据付要領

1. 精米機の設置

- 設置場所は風雨や直射日光の当たらない場所を選んでください。
- 機械が水平になる場所に設置してください。
- 機械がガタつかないように機械の後方にあるアジャストボルトを調整してください。
- 搬送用ハンドルを取り外してください。
(はずしたハンドルは保管しておいてください。)



2. 電源について

電源・電圧について

- 電源プラグは専用コンセントでご使用ください。
- 電圧は規定電圧（200V）の±10%の範囲でご使用ください。
- 電気容量15A以上のコンセントでご使用ください。
- コンセントの設置、延長工事は電気工事士の資格が必要です。

三相電源について

- ・ 電源：三相200V・15A以上
(対地電圧 150V以下)
- ・ コンセント：三相250V・15A以上

推奨コンセント

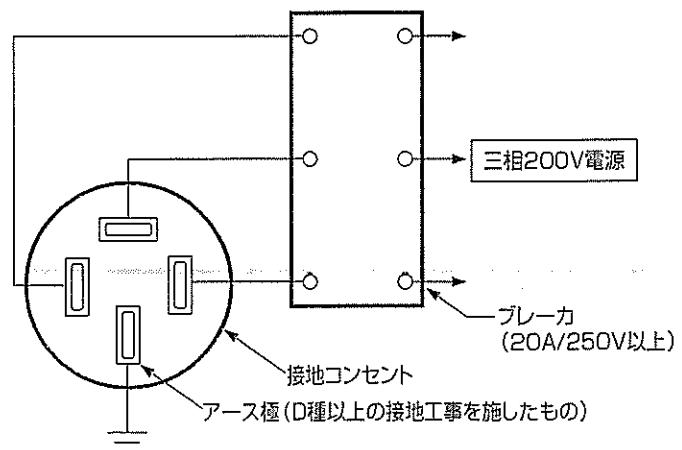
(株)明工社製 埋込み型 MU2821
露 出 型 MR2749
コネクタボディ型 MC2644

アースの取付けについて

- ・ 本機は安全のため、必ずアースをとるようにしてください。
- ・ アース工事は電気設備技術基準等関連する法令・規則に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。

■アース工事のしかた

コンセントのアース極を接地工事をしてください。



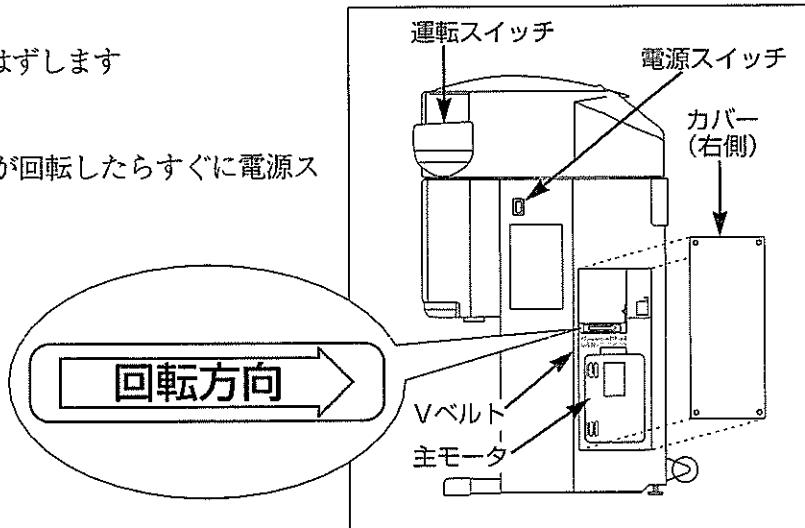
8. 精米機の据付要領

3. 主モータの回転方向の確認

▲ 注意

回転方向が異なると、精米機が正常に動作しません。
下記の手順に従って必ず確認してください。

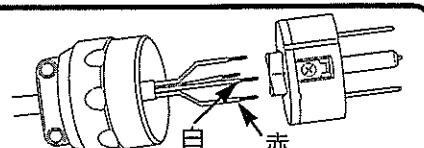
1. 機械に向かって右側のカバーをはずします
2. 電源スイッチを入れます
3. 運転スイッチを押し、主モータが回転したらすぐに電源スイッチを切ってください



4. Vベルトの回転方向がラベルの通りになっているか目視で確認してください。
5. Vベルトの回転方向が反対の場合には、電源プラグ内部で相の入れ替えを行い、上記の手順で再確認してください。

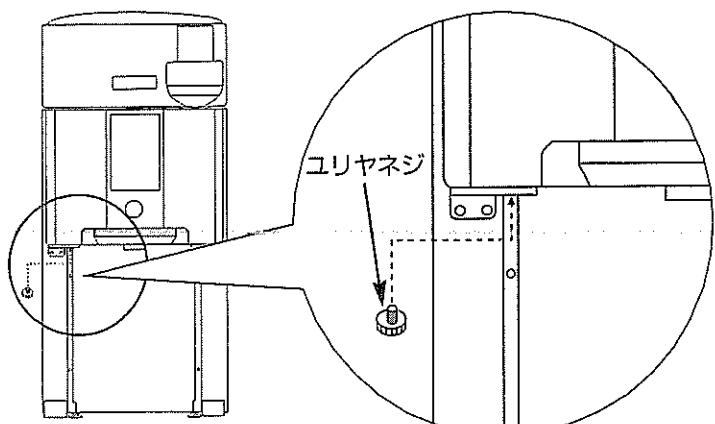
相の入れ替え方法

電源プラグを分解し、白色と赤色のコードの接続を入れ替えます。



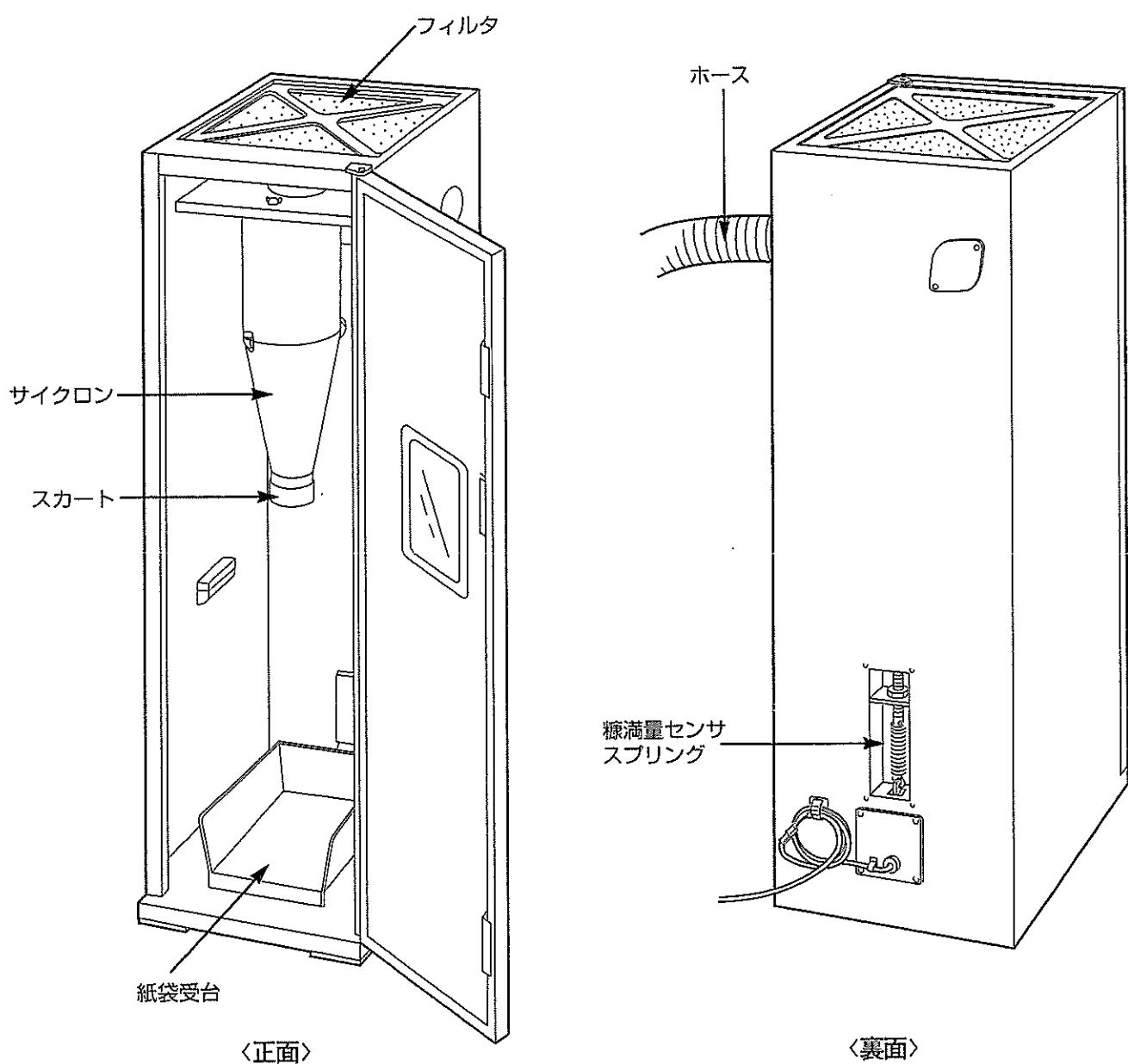
4. 前扉の固定のしかた

付属品のユリヤネジで前扉を固定することができます。締付箇所は前扉に向かって左下部にあります。



9. サイクロンボックス（オプション）

9-1
各部の名称

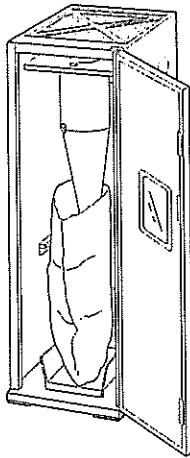


※取付時は必ず、別添えの据付け要領書をご覧になり設置して下さい。

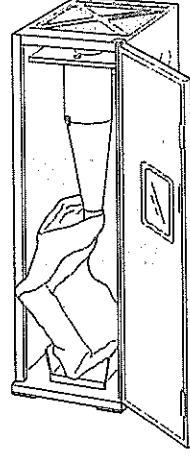
9. サイクロンボックス（オプション）

9-2

使用方法及び使用時の注意点



使用時には30kg紙袋を上図のよう
に紙袋受台の上に立つように設置
します。



▲ 注意

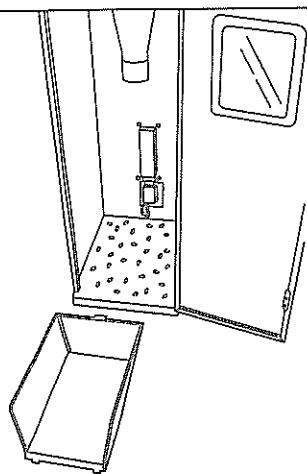
紙袋は、折れ曲がったり、つぶれ
たりしないように、内側から広げ
て、立つように受台に置いてくだ
さい。

▲ 注意

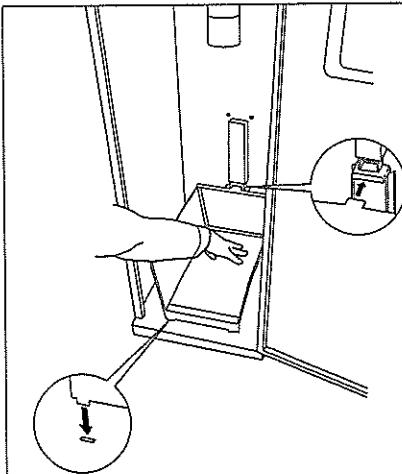
フィルタの上に物をのせないでく
ださい。サイクロンからの空気の
抜けが悪くなり、精米の品質が悪
くなります。

9-3

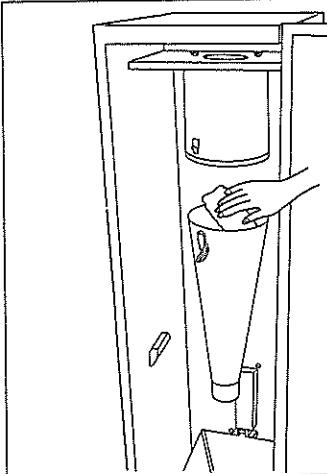
掃除のしかた



①ボックスの床面に溜まった
糠は受台を取り外して掃除し
てください。



②サイクロンの内側に付着した
糠は、サイクロンのパッキン
錐をはずし、サイクロン下側
を取り外して内側を掃除してく
ださい。



③サイクロンの内側に付着した
糠は、サイクロンのパッキン
錐をはずし、サイクロン下側
を取り外して内側を掃除してく
ださい。

10. 製品の仕様

〈主要諸元〉

名 称	クボタ精米機
型 式	VM-30N
所 要 動 力	2.2KW
電 源	AC 三相 200V
精 米 能 力	160~180kg/h (玄米重量)
寸 法	幅639mm×奥行687mm×高1042mm
質 量	本体96kg+糠箱4kg
ホッパー容量	玄米13kg

〈付属品一覧表〉

NO.	名 称	個 数	備 考
1	セイソウヨウシート	1枚	[使用目的]についてはP19の「4-4糠ファンケースの掃除(毎月)」参照
2	マワリドメプレート	1個	
3	ユリヤネジ(M4)	1個	[使用目的]についてはP30の「4.前扉の固定のしかた」参照
4	取扱説明書 (本書)	1部	
5	保証書	1部	

〈サイクロンボックス(オプション)主要諸元〉

名 称	サイクロンボックス
型 式	SB-VM30
寸 法	幅350mm×奥行450mm×高1382mm
質 量	25kg
糠満了センサ	糠重量約8kg

純正部品を使いましょう

補修部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。

市販類似品をお使いになりますと機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

株式会社 クボタ

機械札幌事務所：電(011)662-2121
機械東日本事務所：電(048)862-1121
機械西日本事務所：電(06)6470-5970
機械福岡事務所：電(092)606-3161

〒063-0061 札幌市西区西町北16丁目1番1号
〒338-0832 さいたま市西堀5丁目2番36号
〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番1号
〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号

クボタ機械サービス株式会社

本社営業技術部：電(072)241-8092
北海道営業技術推進部：電(011)662-2121
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162
東京営業技術推進部：電(048)862-1588
新潟営業技術推進部：電(025)285-1263
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860
米子営業技術推進部：電(0859)33-5011
岡山営業技術推進部：電(086)279-4511
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181

〒590-0823 堺市石津北町64番地
〒063-0061 札幌市西区西町北16丁目1番1号
〒011-0901 秋田市寺内字大小路207-54
〒981-1221 名取市田高字原182番地の1
〒338-0832 さいたま市西堀5丁目2番36号
〒950-0992 新潟市上所上1丁目14番15号
〒924-0038 松任市下柏野町956-1
〒491-0031 一宮市観音町1番地の1
〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番1号
〒683-0804 米子市米原7丁目1番1号
〒703-8216 岡山市宍甘275番地
〒769-0102 香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3
〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号
〒861-4147 熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1

株式会社 クボタアグリ東日本

東北系統推進部：電(018)845-1601
関東・甲信越系統推進部：電(048)862-1124

〒011-0901 秋田市寺内字大小路207-54
〒338-0832 さいたま市西堀5丁目2番36号

株式会社 クボタアグリ西日本

中部・近畿系統推進部：電(06)6470-5850
株式会社四国クボタ 系統推進部：電(087)874-8500

〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番1号
〒769-0102 香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3

株式会社 クボタアグリ九州

九州系統事業推進部：電(092)606-3166

〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号

無断複製を禁ず

品番 7B21-06511-2